

# 平成27年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査〔確定値〕 調査結果の概要2（公立学校分）

## 目次

1	暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 1
2	いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会）	・・・ 8
3	長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）	・・・ 15
4	長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）	・・・ 25
5	中途退学者等の状況（公立高等学校）	・・・ 33
6	自殺の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 37
7	出席停止の状況（公立小・中学校）	・・・ 38
8	教育相談の状況（県・市町村教育委員会）	・・・ 39

\* 中学校には中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む

平成29年3月

神奈川県教育委員会

# 1 暴力行為の状況【公立小・中・高等学校】

## (1-1)暴力行為の発生状況

### ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数 (校)	学校の管理下				学校の管理下以外				計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	855	411	48.1	3,014	2,092	135	15.8	275	258	3,289	2,350
中学校	413	321	77.7	3,442	2,781	81	19.6	156	191	3,598	2,972
高等学校	160	109	68.1	373	453	15	9.4	17	25	390	478
計	1,428	841	58.9	6,829	5,326	231	16.2	448	474	7,277	5,800

### イ 対教師暴力

区分	学校総数 (校)	学校の管理下						学校の管理下以外						計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害教師 数(人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害教師 数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	855	144	16.8	499	37	224	276	2	0.2	2	0	2	2	501	37
中学校	413	135	32.7	356	83	305	296	0	0.0	0	0	0	0	356	83
高等学校	160	25	15.6	36	-	38	33	0	0.0	0	-	0	0	36	-
計	1,428	304	21.3	891	120	567	605	2	0.1	2	0	2	2	893	120

### ウ 生徒間暴力

区分	学校総数 (校)	学校の管理下						学校の管理下以外						計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害児童・ 生徒数(人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害児童・ 生徒数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	855	344	40.2	2,059	174	1,699	1,914	126	14.7	257	27	247	255	2,316	201
中学校	413	295	71.4	2,052	389	2,135	1,968	61	14.8	124	22	153	127	2,176	411
高等学校	160	98	61.3	212	-	287	196	12	7.5	13	-	20	14	225	-
計	1,428	737	51.6	4,323	563	4,121	4,078	199	13.9	394	49	420	396	4,717	612

### エ 対人暴力

区分	学校総数 (校)	学校の管理下						学校の管理下以外						計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	855	15	1.8	18	2	18	16	13	1.5	16	0	19	19	34	2
中学校	413	5	1.2	7	3	9	7	27	6.5	32	7	46	37	39	10
高等学校	160	4	2.5	9	-	13	3	4	2.5	4	-	5	4	13	-
計	1,428	24	1.7	34	5	40	26	44	3.1	52	7	70	60	86	12

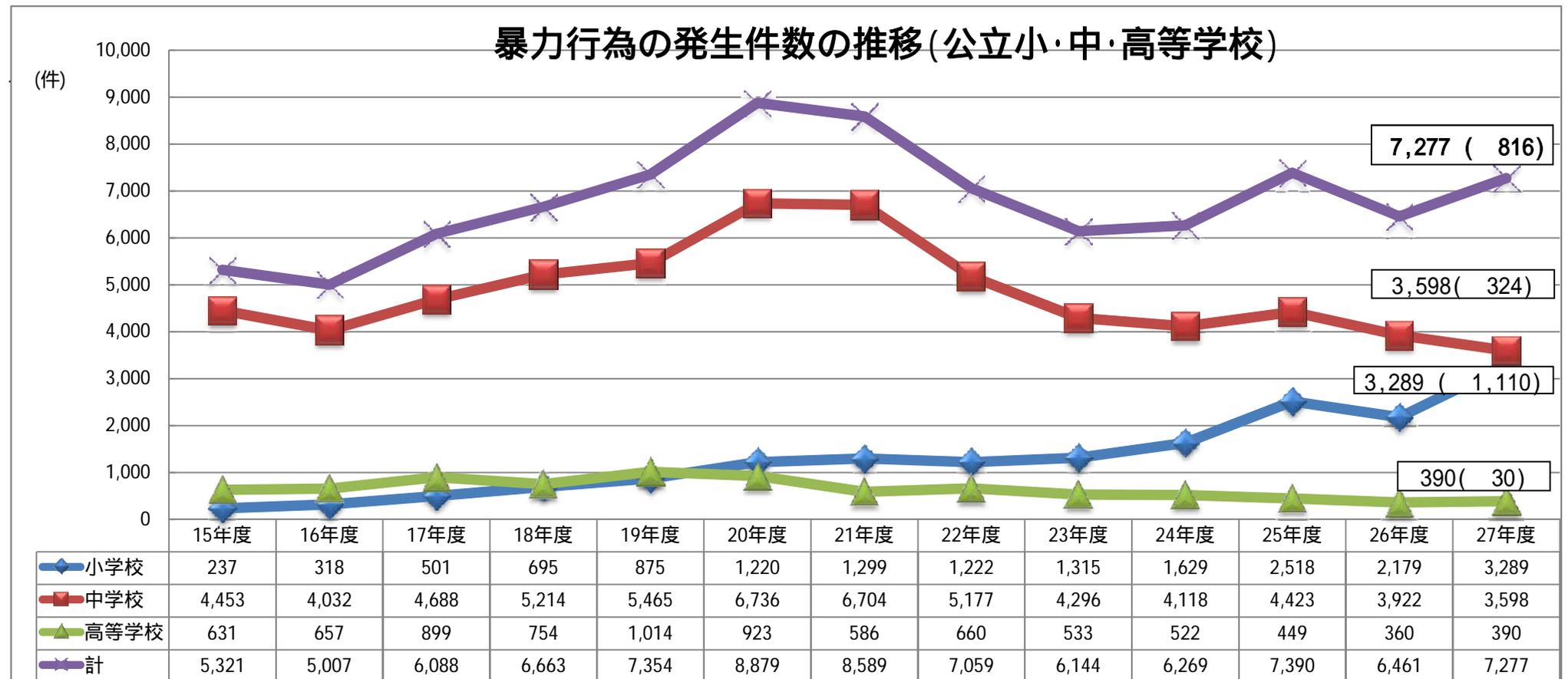
オ 器物損壊

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	855	197	23.0	438	567
中学校	413	193	46.7	1,027	942
高等学校	160	63	39.4	116	147
計	1,428	453	31.7	1,581	1,656

ア～オともに

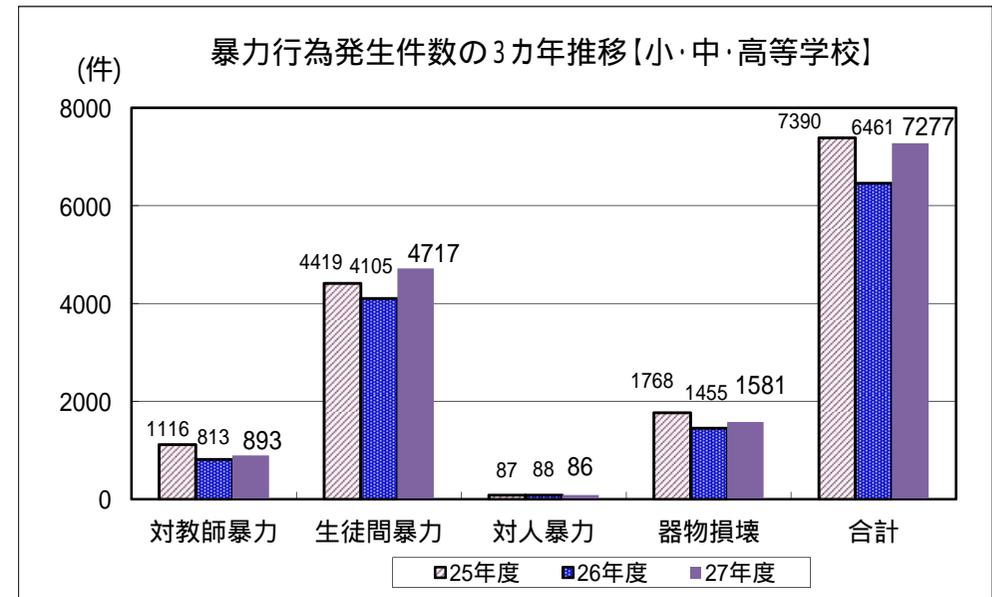
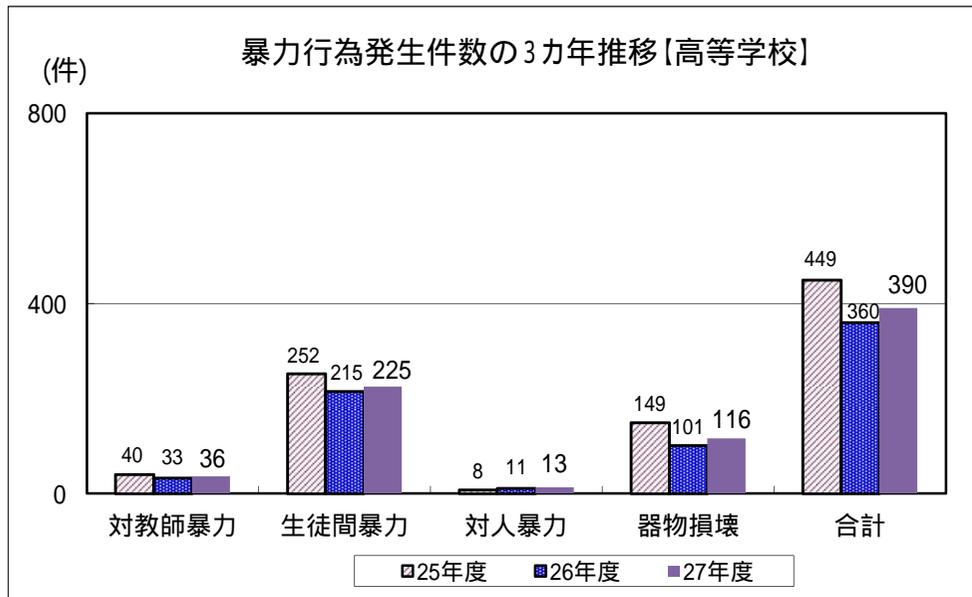
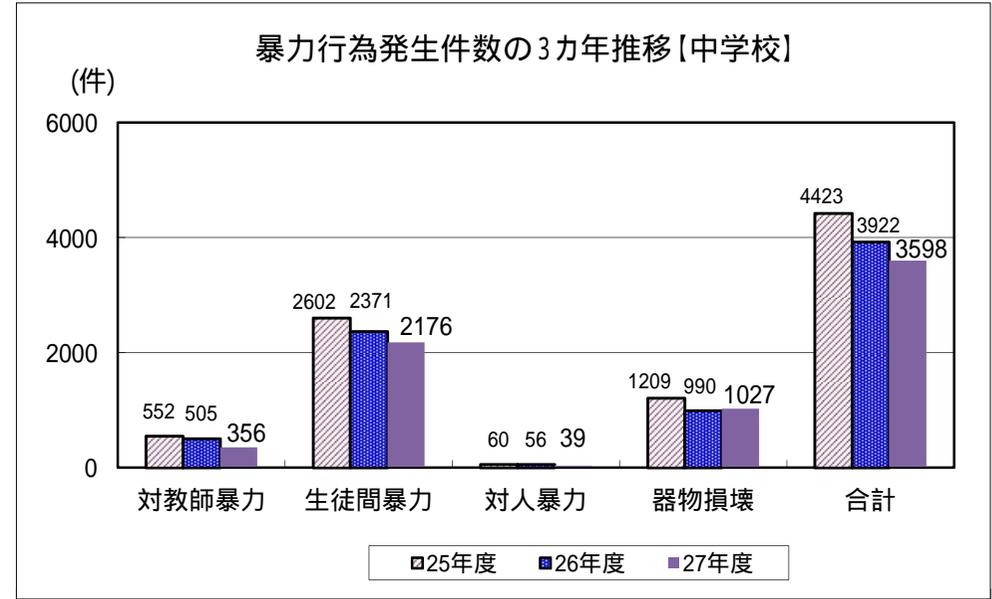
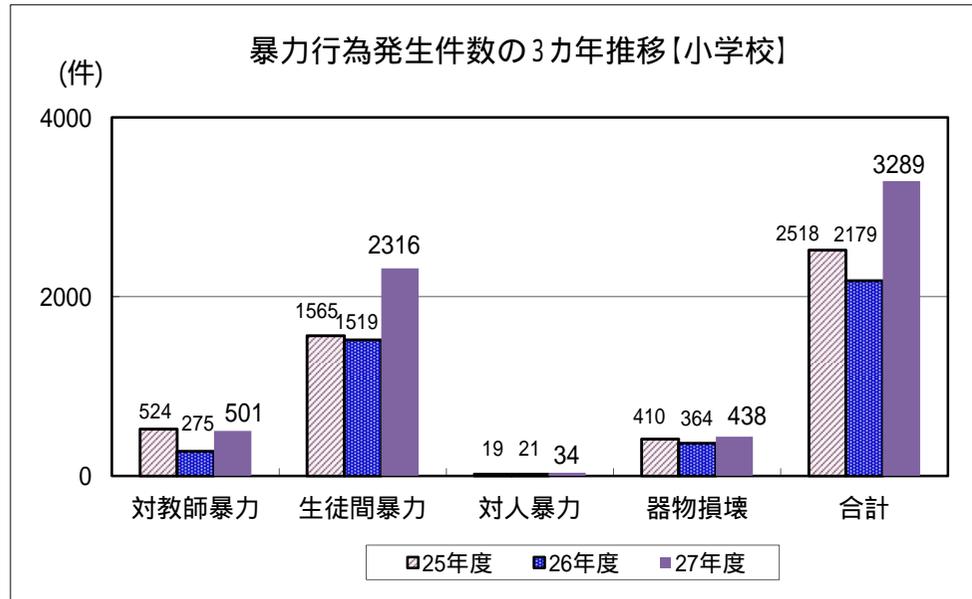
- (注1)学校総数は、平成27年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。高等学校の学校数は、全日制、定時制、通信制、併置校及び中等教育学校後期課程の合計数。
- (注2)発生学校数は、のべ数。発生件数のうち 病院の欄は、調査時点で学校が把握している情報に基づき、当該暴力行為により被害者が病院で治療した件数を、発生件数の内数として計上。
- (注3)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注4)「合計」欄の発生学校数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注5)「合計」欄の加害児童・生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに、1人の加害児童・生徒が複数の形態の加害児童・生徒として計上されている場合、実数(1人)として扱っているため、(1-2)学年別・男女別加害児童・生徒数の数値と一致しない。

(参考1)  
暴力行為の発生件数の推移



(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2) 学年別・男女別加害児童・生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3・4年生	計	
男子	178	324	339	434	533	739	2,547	1,116	1,388	915	3,419	221	159	90	470	6,436
女子	21	28	33	47	40	60	229	66	62	43	171	10	16	14	40	440
計	199	352	372	481	573	799	2,776	1,182	1,450	958	3,590	231	175	104	510	6,876

(注)人数は、(1-1)暴力行為の発生状況の「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」に計上された加害児童・生徒数の数値を合計したものと一致し、延べ人数となり、実人数ではない。

(1-3) 加害児童・生徒に対する学校の措置別人数

区分	退学・転学						停学			出席停止			自宅学習 自宅謹慎等			訓告			計		
	懲戒退学			その他			学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	学校		小計	学校		小計	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
	内	外		内	外																
小学校	-	-	-	0	1	1	-	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	1	1
中学校	0	0	0	0	1	1	-	-	-	1	0	1	-	-	-	14	0	14	15	1	16
高等学校	1	0	1	23	2	25	0	0	0	-	-	-	350	14	364	0	0	0	374	16	390

(注1)「退学・転学」中のその他とは、勸奨・申し出による退学及び転学である。

(注2)「訓告」とは、校長が学校教育法施行規則26条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったものであり、事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等は含まれない。

(1-4) 加害児童・生徒に対する関係機関の措置別人数

区分	警察の補導			家庭裁判所の 保護的措置			少年刑務所			少年院			保護観察			児童自立支援 施設			児童相談所			計		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	2	4	6	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	3	2	5	11	6	17	16	12	28
中学校	65	24	89	26	10	36	-	-	-	0	1	1	17	6	23	0	1	1	18	6	24	126	48	174
高等学校	2	4	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	4	5	9

(注1)最終的な措置が確定している場合は該当する措置、最終的な措置が確定していない場合は年度末現在の状況を計上。

(注2)「家庭裁判所の保護的措置」には、審判不開始、不処分のほか、調査中、審判中のものが含まれる。

(1 - 5)加害児童・生徒に対する学校の対応

ア 指導した者

区分	学級担任や他の教職員が指導			養護教諭が指導			校長、教頭が指導			スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング			その他の者が指導		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	2,374	251	2,625	432	18	450	787	52	839	134	10	144	105	21	126
中学校	3,325	182	3,507	103	3	106	440	19	459	42	1	43	81	13	94
計	5,699	433	6,132	535	21	556	1,227	71	1,298	176	11	187	186	34	220

イ 連携した機関等

区分	警察等の刑事司法機関等と連携した対応			児童相談所等の福祉機関等と連携した対応			病院等の医療機関等と連携した対応			その他の専門的な関係機関等と連携した対応			地域の人材や団体等と連携した対応		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	48	19	67	79	15	94	88	7	95	118	5	123	44	16	60
中学校	224	64	288	65	11	76	65	2	67	24	3	27	1	5	6
計	272	83	355	144	26	170	153	9	162	142	8	150	45	21	66

ウ 指導等の内容

区分	被害者等(被害者の関係者を含む)に対する謝罪指導			友人関係を改善するための指導			ルールの徹底や規範意識を醸成するための指導			個別に学習支援			当該児童・生徒が意欲を持って活動できる場を用意		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	1,944	217	2,161	1,523	172	1,695	1,942	197	2,139	271	15	286	503	32	535
中学校	2,648	132	2,780	1,703	64	1,767	2,434	134	2,568	128	1	129	319	11	330
計	4,592	349	4,941	3,226	236	3,462	4,376	331	4,707	399	16	415	822	43	865

区分	教職員との関係改善			保護者の協力を求めて、家族関係等の改善・調整			その他		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外	
小学校	311	12	323	906	96	1,002	23	6	29
中学校	348	4	352	1,030	72	1,102	56	7	63
計	659	16	675	1,936	168	2,104	79	13	92

ア、イ、ウともに

(注1)複数選択を可とする。

(注2)「連携した機関等」には、当該機関の関係団体や関係者を含む。

なお、「警察等の刑事司法機関等と連携した対応」には「サポートチーム」の取組などを含む。

(1 - 6) 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒の状況

ア 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒数等

		小学校	中学校
該当児童・生徒数		98	46
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数		1,006	308
内訳	対教師暴力	298	71
	生徒間暴力	623	167
	対人暴力	23	3
	器物損壊	62	67
加害児童・生徒数のうち該当児童・生徒の割合		4.2	1.5
(再掲)各区分における加害児童・生徒数		2,350	2,972
暴力発生件数のうち該当児童・生徒が起こした割合		30.6	8.6
(再掲)暴力行為発生件数		3,289	3,598

(参考)

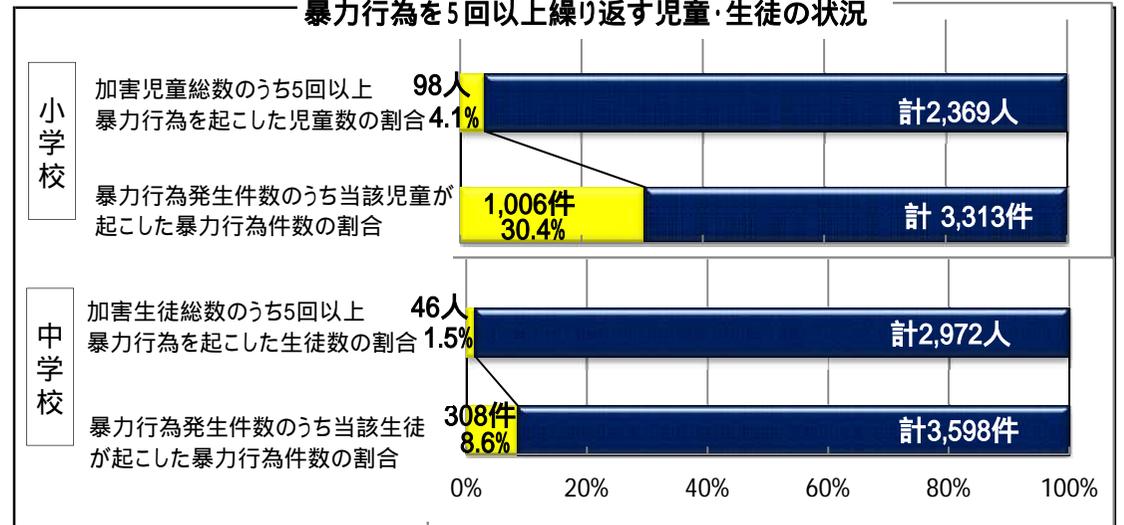
【小学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	7	0	18	2	7	1	23	0	17	2	21	0	93	5	98	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	43	0	235	26	39	10	180	0	233	11	229	0	959	47	1,006	
内訳	対教師暴力	2	0	72	2	13	5	42	0	129	1	32	0	290	8	298
	生徒間暴力	33	0	156	23	22	5	120	0	93	8	163	0	587	36	623
	対人暴力	5	0	0	0	1	0	1	0	1	0	15	0	23	0	23
	器物損壊	3	0	7	1	3	0	17	0	10	2	19	0	59	3	62

【中学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	6	1	24	0	15	0	45	1	46	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	45	5	171	0	87	0	303	5	308	
内訳	対教師暴力	3	4	52	0	12	0	67	4	71
	生徒間暴力	36	1	80	0	50	0	166	1	167
	対人暴力	0	0	2	0	1	0	3	0	3
	器物損壊	6	0	37	0	24	0	67	0	67

暴力行為を5回以上繰り返す児童・生徒の状況



イ 繰り返し暴力を起こす理由として考えられる要因

		小学校		中学校		計	
		回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
本人の問題	本人に粗暴的な性格が見受けられる	79	80.6	39	84.8	118	81.9
	本人の規範意識が低いと思われる	79	80.6	43	93.5	122	84.7
家庭の問題	養育放棄(ネグレクト)が背景にあるように思われる	18	18.4	14	30.4	32	22.2
	ネグレクト以外の児童虐待が背景にあるように思われる	23	23.5	6	13.0	29	20.1
	家族関係のなかでのストレスや葛藤がある	68	69.4	29	63.0	97	67.4
学校の問題	友達との人間関係をうまく構築できない	81	82.7	22	47.8	103	71.5
	教員との信頼関係が崩れたからだと思われる	29	29.6	9	19.6	38	26.4
	校内での非行グループ化が背景にある	0	0.0	21	45.7	21	14.6
	卒業生や校外の非行グループとの繋がりが背景にある	1	1.0	24	52.2	25	17.4
	授業を理解できないことが原因と思われる	40	40.8	26	56.5	66	45.8
その他	その他	30	30.6	3	6.5	33	22.9

(注1)複数回答のため、回答数の合計は該当児童・生徒数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における加害児童・生徒数に対する割合。

5回以上該当者数	小学校	98	中学校	46	合計	144
----------	-----	----	-----	----	----	-----

## 2 いじめの状況【公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会】

### (2-1) いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A×100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数:C/A(件)	認知していない 学校数:D(校)	比率: D/A×100(%)
小学校	855	734	85.8	5,030	5.9	121	14.2
中学校	413	364	88.1	2,554	6.2	49	11.9
高等学校	186	78	41.9	226	1.2	108	58.1
特別支援学校	46	20	43.5	106	2.3	26	56.5
計	1,500	1,196	79.7	7,916	5.3	304	20.3

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立って行うものとする。  
 「いじめ」とは、「児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係のある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が、心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。  
 「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応をとることが必要である。

(注2)学校総数は、高等学校の全定併置校や通信制併設校等を全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

### (2-2) いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

区分	小学校						中学校				高等学校				
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
男子	272	417	494	556	647	565	2,951	700	533	215	1,448	75	36	34	145
女子	168	279	304	342	462	524	2,079	538	395	173	1,106	39	31	11	81
計	440	696	798	898	1,109	1,089	5,030	1,238	928	388	2,554	114	67	45	226

区分	特別支援学校															合計	
	小学部							中学部				高等部					計
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
男子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	26	36	11	73	74	4,618
女子	2	0	0	0	0	0	2	1	1	1	3	10	14	3	27	32	3,298
計	2	0	0	0	0	0	2	1	2	1	4	36	50	14	100	106	7,916

### (2-3) 警察に相談・通報した校数・件数

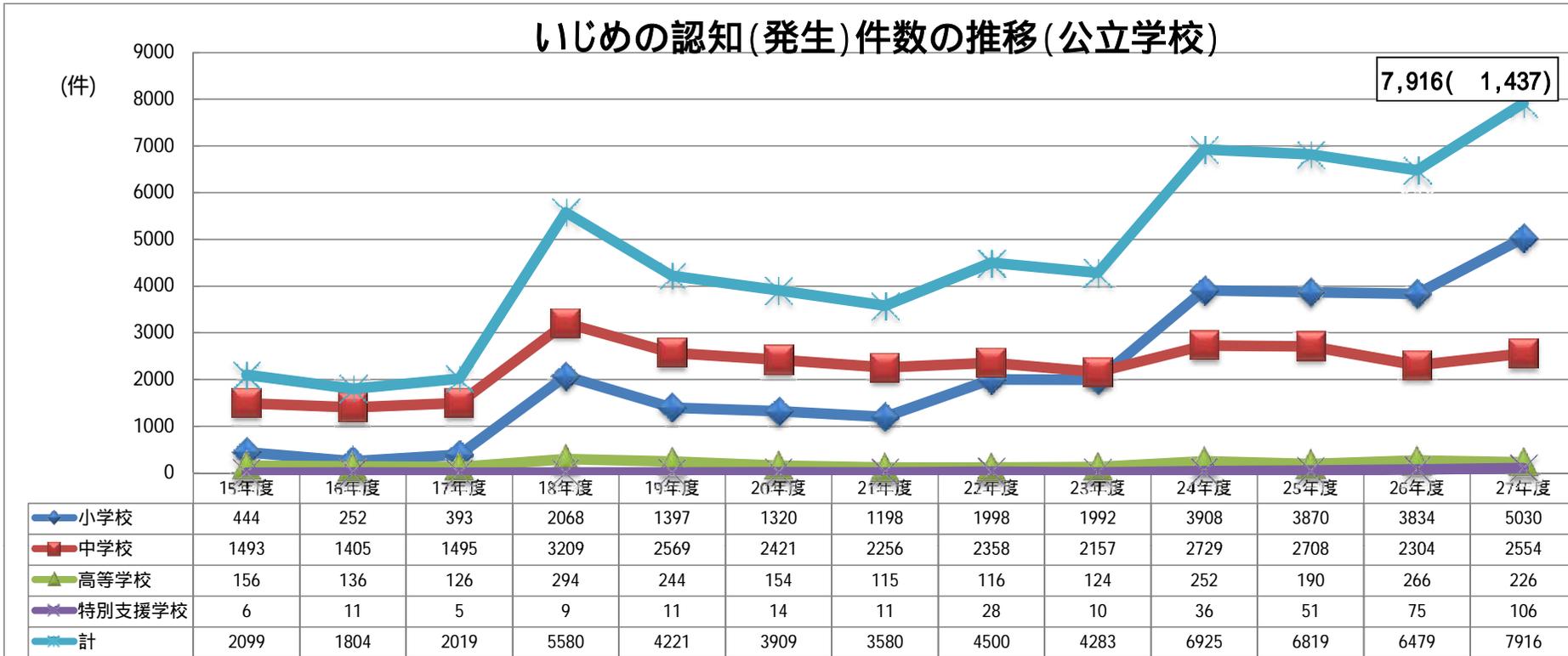
区分	いじめを認知した学校数			いじめの認知件数		
	(単位:校)	うち、警察に相談・通報した学校数 (単位:校)	警察に相談・通報した学校の割合 (単位:%)	(単位:件)	うち、警察に相談・通報した件数 (単位:件)	警察に相談・通報した件数の割合 (単位:%)
小学校	734	18	2.5	5,030	19	0.4
中学校	364	31	8.5	2,554	40	1.6
高等学校	78	2	2.6	226	2	0.9
特別支援学校	20	2	10.0	106	3	2.8
計	1,196	53	4.4	7,916	64	0.8

(注1)「うち、警察に相談・通報した学校数(単位:校)」は、平成27年度間において、1件以上のいじめについて警察に相談・通報した場合1校とする。

(注2)「うち、警察に相談・通報した件数(単位:件)」は、「認知件数(単位:件)」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。

(参考)

いじめの認知(発生)件数の推移



(2 - 4)いじめの現在の状況

区分	解消しているもの		一定の解消が図られたが、継続支援中		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	3,801	75.6	1,162	23.1	54	1.1	13	0.3	5,030	100
中学校	2,035	79.7	496	19.4	18	0.7	5	0.2	2,554	100
高等学校	177	78.3	30	13.3	13	5.8	6	2.7	226	100
特別支援学校	71	67.0	31	29.2	3	2.8	1	0.9	106	100
計	6,084	76.9	1,719	21.7	88	1.1	25	0.3	7,916	100

(2-5) いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	2,275	45.2	835	32.7	127	56.2	53	50.0	3,290	41.6
学級担任が発見	1,035	20.6	433	17.0	13	5.8	19	17.9	1,500	18.9
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	94	1.9	179	7.0	15	6.6	9	8.5	297	3.8
養護教諭が発見	13	0.3	11	0.4	5	2.2	0	0.0	29	0.4
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	8	0.2	6	0.2	0	0.0	0	0.0	14	0.2
アンケート調査など学校の取組により発見	1,125	22.4	206	8.1	94	41.6	25	23.6	1,450	18.3
学校の教職員等以外からの情報により発見	2,755	54.8	1,719	67.3	99	43.8	53	50.0	4,626	58.4
本人からの訴え	1,147	22.8	1,050	41.1	55	24.3	34	32.1	2,286	28.9
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	1,211	24.1	442	17.3	19	8.4	12	11.3	1,684	21.3
児童・生徒(本人を除く)からの情報	201	4.0	158	6.2	21	9.3	5	4.7	385	4.9
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	178	3.5	60	2.3	3	1.3	1	0.9	242	3.1
地域住民からの情報	6	0.1	3	0.1	0	0.0	0	0.0	9	0.1
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	10	0.2	5	0.2	1	0.4	1	0.9	17	0.2
その他(匿名による投書など)	2	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.0
計	5,030	100	2,554	100	226	100	106	100	7,916	100

(注)「学校の教職員等が発見」が「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

(2-6) いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	3,585	71.3	1,687	66.1	104	46.0	82	77.4	5,458	68.9
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	584	11.6	550	21.5	38	16.8	23	21.7	1,195	15.1
養護教諭に相談	190	3.8	133	5.2	28	12.4	6	5.7	357	4.5
スクールカウンセラー等の相談員に相談	171	3.4	100	3.9	10	4.4	12	11.3	293	3.7
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	48	1.0	43	1.7	0	0.0	3	2.8	94	1.2
保護者や家族等に相談	1,648	32.8	766	30.0	50	22.1	17	16.0	2,481	31.3
友人に相談	232	4.6	208	8.1	39	17.3	3	2.8	482	6.1
その他(地域の人など)	12	0.2	2	0.1	0	0.0	2	1.9	16	0.2
誰にも相談していない	229	4.6	248	9.7	51	22.6	11	10.4	539	6.8
いじめの認知件数	5,030		2,554		226		106		7,916	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-7)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	3,134	62.3	1,576	61.7	149	65.9	77	72.6	4,936	62.4
仲間はずれ、集団による無視をされる	865	17.2	282	11.0	36	15.9	8	7.5	1,191	15.0
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	884	17.6	316	12.4	31	13.7	16	15.1	1,247	15.8
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	215	4.3	127	5.0	6	2.7	1	0.9	349	4.4
金品をたかられる	45	0.9	23	0.9	4	1.8	2	1.9	74	0.9
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	288	5.7	173	6.8	18	8.0	6	5.7	485	6.1
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	262	5.2	168	6.6	14	6.2	8	7.5	452	5.7
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	97	1.9	251	9.8	54	23.9	6	5.7	408	5.2
その他	183	3.6	55	2.2	8	3.5	8	7.5	254	3.2
いじめの認知件数	5,030		2,554		226		106		7,916	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-8)いじめの児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った	132	2.6	59	2.3	32	14.2	3	2.8	226	2.9	
校長、教頭が指導した	459	9.1	58	2.3	65	28.8	4	3.8	586	7.4	
別室指導した	1,428	28.4	842	33.0	75	33.2	23	21.7	2,368	29.9	
学級替えをした	46	0.9	18	0.7	6	2.7	2	1.9	72	0.9	
退学 懲戒処分としての退学	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
転学 その他	4	0.1	0	0.0	5	2.2	2	1.9	11	0.1	
停学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
出席停止	0	0.0	1	0.0	-	-	-	-	1	0.0	
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	30	13.3	2	1.9	32	0.4	
訓告	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
保護者への報告	2,528	50.3	1,771	69.3	118	52.2	29	27.4	4,446	56.2	
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	2,169	43.1	1,485	58.1	55	24.3	47	44.3	3,756	47.4	
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	33	0.7	44	1.7	1	0.4	3	2.8	81	1.0
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	30	0.6	15	0.6	0	0.0	5	4.7	50	0.6
	ウ 病院等の医療機関等との連携	9	0.2	6	0.2	1	0.4	4	3.8	20	0.3
	エ その他の専門的な関係機関との連携	46	0.9	17	0.7	0	0.0	2	1.9	65	0.8
	オ 地域の人材や団体等との連携	8	0.2	0	0.0	0	0.0	1	0.9	9	0.1
いじめの認知件数	5,030		2,554		226		106		7,916		

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-9)いじめられた児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った	192	3.8	218	8.5	90	39.8	7	6.6	507	6.4
別室を提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した	275	5.5	194	7.6	80	35.4	36	34.0	585	7.4
緊急避難として欠席させた	15	0.3	8	0.3	5	2.2	2	1.9	30	0.4
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	400	8.0	732	28.7	32	14.2	11	10.4	1,175	14.8
学級替えをした	54	1.1	17	0.7	11	4.9	2	1.9	84	1.1
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した	130	2.6	96	3.8	5	2.2	2	1.9	233	2.9
児童相談所等の関係機関と連携して対応した(サポートチームなども含む)	54	1.1	33	1.3	4	1.8	5	4.7	96	1.2
いじめの認知件数	5,030		2,554		226		106		7,916	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-10)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
いじめの問題に関して、職員会議等を通じて教職員間で共通理解を図ったり校内研修会を実施したりした	855	100.0	412	99.8	147	79.0	41	89.1	1,455	97.0
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	812	95.0	385	93.2	74	39.8	23	50.0	1,294	86.3
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした	689	80.6	353	85.5	51	27.4	26	56.5	1,119	74.6
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った	725	84.8	355	86.0	173	93.0	31	67.4	1,284	85.6
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	676	79.1	322	78.0	114	61.3	26	56.5	1,138	75.9
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民の理解を得よう努めた	848	99.2	401	97.1	117	62.9	29	63.0	1,395	93.0
P T Aなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	238	27.8	140	33.9	18	9.7	6	13.0	402	26.8
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った	222	26.0	160	38.7	25	13.4	9	19.6	416	27.7
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対応のための啓発活動を実施した	524	61.3	276	66.8	118	63.4	21	45.7	939	62.6
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った	841	98.4	393	95.2	85	45.7	34	73.9	1,353	90.2
学校いじめ防止基本方針に定めているとおり、いじめ防止等の対策のための組織を招集した	835	97.7	390	94.4	109	58.6	32	69.6	1,366	91.1
学校総数	855		413		186		46		1,500	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2 - 11)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法

【いじめを認知した学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		734	100.0	364	100.0	78	100.0	18	90.0	1,194	99.8
実施頻度	ア 年1回	77	10.5	18	4.9	13	16.7	9	45.0	117	9.8
	イ 年2～3回	580	79.0	249	68.4	63	80.8	9	45.0	901	75.3
	ウ 年4回以上	77	10.5	97	26.6	2	2.6	0	0.0	176	14.7
調査方法	ア 記名式	480	65.4	257	70.6	40	51.3	6	30.0	783	65.5
	イ 無記名式	379	51.6	183	50.3	34	43.6	12	60.0	608	50.8
	ウ 記名・無記名の選択式	54	7.4	40	11.0	13	16.7	2	10.0	109	9.1
回答方法	ア 選択式(学校で記入)	638	86.9	294	80.8	59	75.6	13	65.0	1,004	83.9
	イ 選択式(持ち帰って記入)	2	0.3	15	4.1	8	10.3	5	25.0	30	2.5
	ウ 記述式(学校で記入)	404	55.0	224	61.5	38	48.7	8	40.0	674	56.4
	エ 記述式(持ち帰って記入)	4	0.5	14	3.8	2	2.6	2	10.0	22	1.8
個別面談の実施		530	72.2	322	88.5	49	62.8	15	75.0	916	76.6
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		328	44.7	163	44.8	3	3.8	8	40.0	502	42.0
家庭訪問		418	56.9	257	70.6	5	6.4	8	40.0	688	57.5
その他		38	5.2	15	4.1	2	2.6	1	5.0	56	4.7
いじめを認知した学校数		734		364		78		20		1,196	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		121	100.0	49	100.0	108	100.0	21	80.8	299	98.4
実施頻度	ア 年1回	17	14.0	5	10.2	23	21.3	14	53.8	59	19.4
	イ 年2～3回	98	81.0	34	69.4	84	77.8	7	26.9	223	73.4
	ウ 年4回以上	6	5.0	10	20.4	1	0.9	0	0.0	17	5.6
調査方法	ア 記名式	57	47.1	25	51.0	45	41.7	6	23.1	133	43.8
	イ 無記名式	69	57.0	32	65.3	46	42.6	14	53.8	161	53.0
	ウ 記名・無記名の選択式	20	16.5	8	16.3	27	25.0	2	7.7	57	18.8
回答方法	ア 選択式(学校で記入)	91	75.2	40	81.6	80	74.1	8	30.8	219	72.0
	イ 選択式(持ち帰って記入)	0	0.0	3	6.1	16	14.8	8	30.8	27	8.9
	ウ 記述式(学校で記入)	68	56.2	27	55.1	54	50.0	6	23.1	155	51.0
	エ 記述式(持ち帰って記入)	1	0.8	5	10.2	13	12.0	9	34.6	28	9.2
個別面談の実施		81	66.9	38	77.6	71	65.7	12	46.2	202	66.4
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		43	35.5	15	30.6	6	5.6	7	26.9	71	23.4
家庭訪問		72	59.5	31	63.3	9	8.3	12	46.2	124	40.8
その他		7	5.8	1	2.0	6	5.6	1	3.8	15	4.9
いじめを認知していない学校数		121		49		108		26		304	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

[合計]

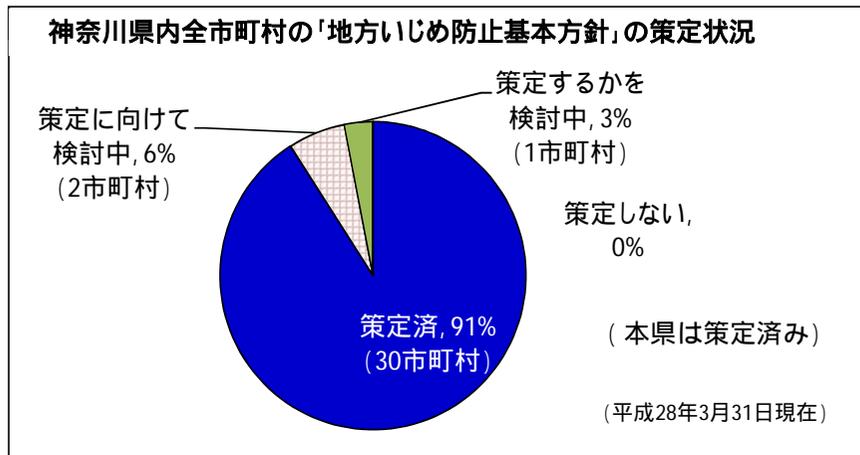
区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		855	100.0	413	100.0	186	100.0	39	84.8	1,493	99.5
実施頻度	ア 年1回	94	11.0	23	5.6	36	19.4	23	50.0	176	11.7
	イ 年2～3回	678	79.3	283	68.5	147	79.0	16	34.8	1,124	74.9
	ウ 年4回以上	83	9.7	107	25.9	3	1.6	0	0.0	193	12.9
調査方法	ア 記名式	537	62.8	282	68.3	85	45.7	12	26.1	916	61.1
	イ 無記名式	448	52.4	215	52.1	80	43.0	26	56.5	769	51.3
	ウ 記名・無記名の選択式	74	8.7	48	11.6	40	21.5	4	8.7	166	11.1
回答方法	ア 選択式(学校で記入)	729	85.3	334	80.9	139	74.7	21	45.7	1,223	81.5
	イ 選択式(持ち帰って記入)	2	0.2	18	4.4	24	12.9	13	28.3	57	3.8
	ウ 記述式(学校で記入)	472	55.2	251	60.8	92	49.5	14	30.4	829	55.3
	エ 記述式(持ち帰って記入)	5	0.6	19	4.6	15	8.1	11	23.9	50	3.3
個別面談の実施		611	71.5	360	87.2	120	64.5	27	58.7	1,118	74.5
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		371	43.4	178	43.1	9	4.8	15	32.6	573	38.2
家庭訪問		490	57.3	288	69.7	14	7.5	20	43.5	812	54.1
その他		45	5.3	16	3.9	8	4.3	2	4.3	71	4.7
学校総数		855		413		186		46		1,500	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(参考)

「いじめ防止対策推進法」に関して



いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
重大事態発生件数(校)	1	3	0	0	4
重大事態発生件数(件)	1	3	0	0	4
うち、第1号	1	1	0	0	2
うち、第2号	1	2	0	0	3

\*いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」であり、同項第2号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

いじめ防止対策推進法第30条第2項及び第31条第2項に規定する調査(再調査)について

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
再調査を行った件数(校)	0	0	0	0	0

(2-12)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校							中学校				特別支援学校			合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	小学部	中学部	計	
平成27年度	3	0	0	2	3	2	10	4	3	0	7	0	0	0	17

就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数	9
--------------------------	---

### 3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校】

#### (3-1)理由別長期欠席者数

区分	学年	在籍者数	理由別長期欠席者数										計	
			不登校		経済的理由		病気		その他		うち、「不登校」の要因を含んでいる者			
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
小学校	1年生	75,746	128	0.17	1	0.00	143	0.19	218	0.29	26	0.03	490	0.65
	2年生	76,460	197	0.26	1	0.00	211	0.28	226	0.30	36	0.05	635	0.83
	3年生	75,620	289	0.38	0	0.00	252	0.33	218	0.29	42	0.06	759	1.00
	4年生	73,658	382	0.52	1	0.00	205	0.28	191	0.26	49	0.07	779	1.06
	5年生	75,705	605	0.80	0	0.00	306	0.40	230	0.30	57	0.08	1,141	1.51
	6年生	77,541	718	0.93	1	0.00	301	0.39	301	0.39	71	0.09	1,321	1.70
	計	454,730	2,319	0.51	4	0.00	1,418	0.31	1,384	0.30	281	0.06	5,125	1.13
中学校	1年生	69,033	1,758	2.55	3	0.00	367	0.53	227	0.33	62	0.09	2,355	3.41
	2年生	70,057	2,412	3.44	2	0.00	453	0.65	305	0.44	71	0.10	3,172	4.53
	3年生	70,606	2,447	3.47	11	0.02	397	0.56	325	0.46	75	0.11	3,180	4.50
	計	209,696	6,617	3.16	16	0.01	1,217	0.58	857	0.41	208	0.10	8,707	4.15
合計	664,426	8,936	1.34	20	0.00	2,635	0.40	2,241	0.34	489	0.07	13,832	2.08	

(注1)在籍者数は、平成27年5月1日現在

(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。

「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「その他」に該当するものを計上している。

「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。)

「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せないとか、生徒が働いて家計を助けなければならない等のため

「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため

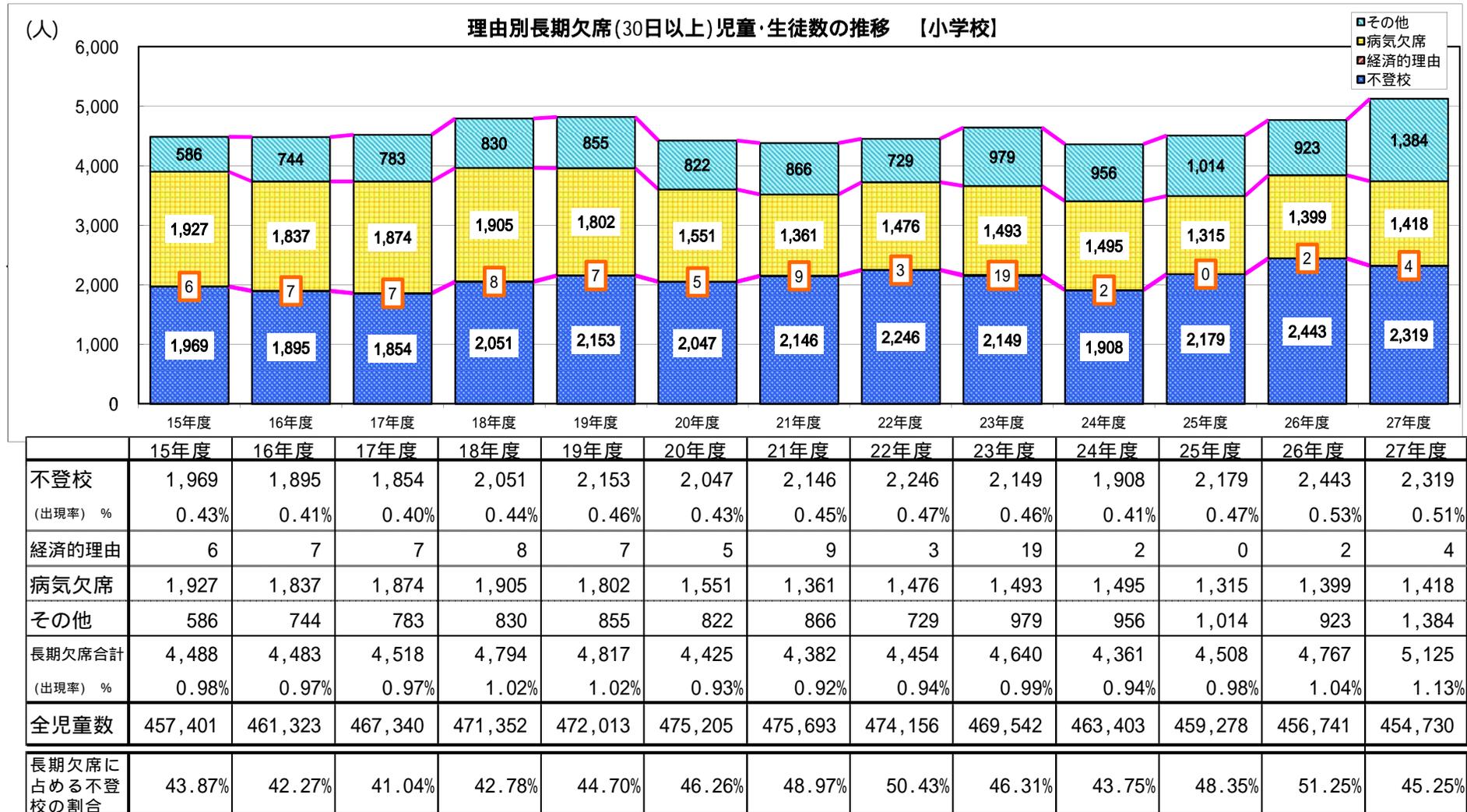
「その他」：上記のいずれにも該当しない理由のため

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

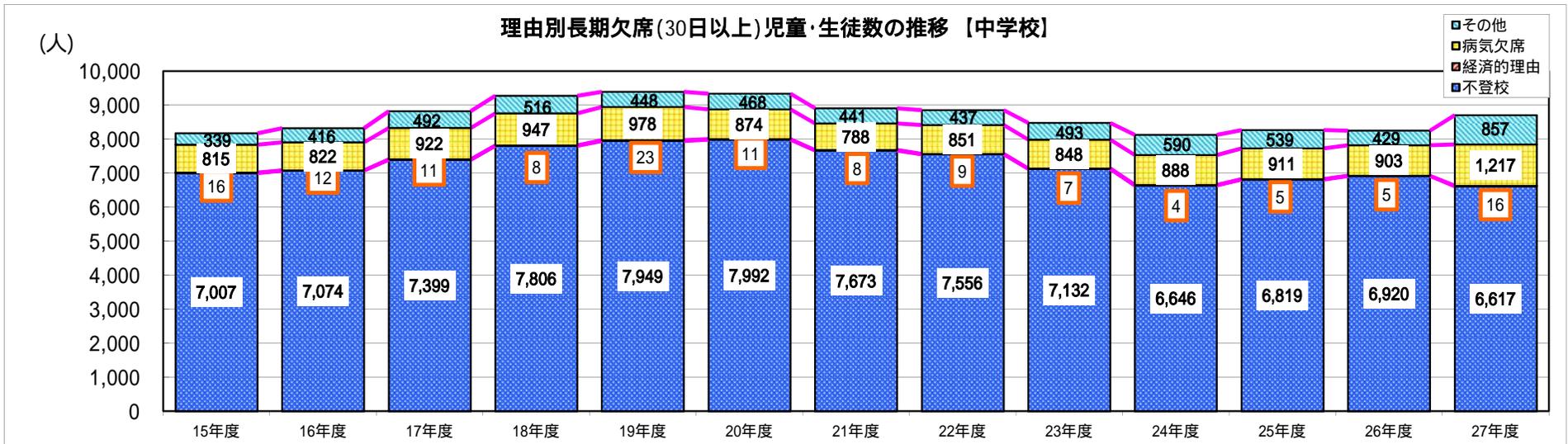
(参考1)

公立小・中学校 理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移

【小学校】



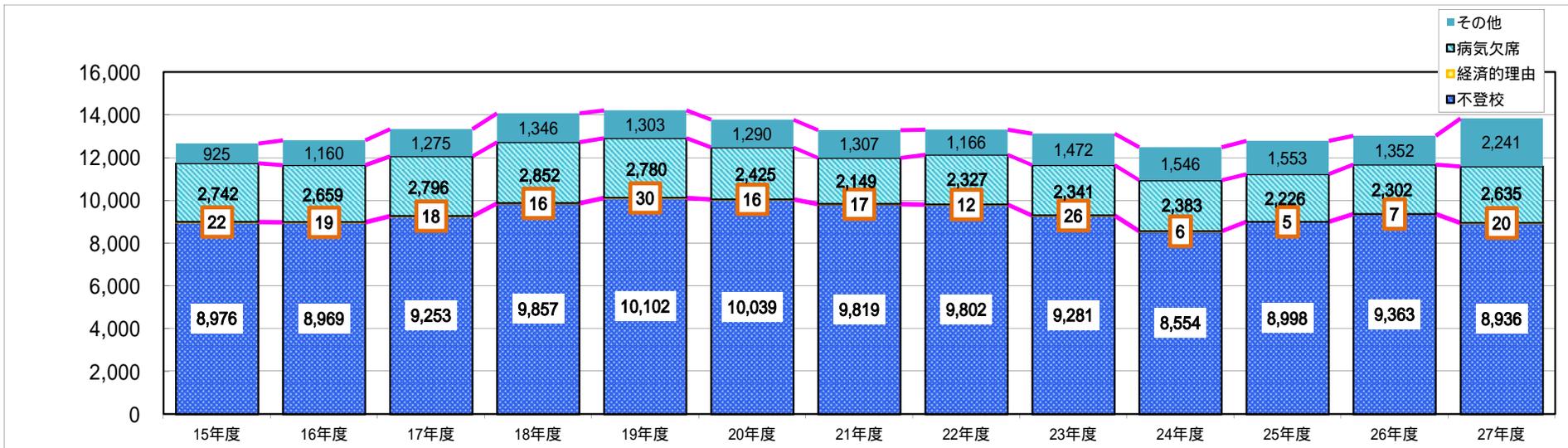
【中学校】



	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
不登校	7,007	7,074	7,399	7,806	7,949	7,992	7,673	7,556	7,132	6,646	6,819	6,920	6,617
(出現率) %	3.59%	3.69%	3.85%	4.02%	4.02%	4.00%	3.79%	3.72%	3.43%	3.17%	3.23%	3.29%	3.16%
経済的理由	16	12	11	8	23	11	8	9	7	4	5	5	16
病欠欠席	815	822	922	947	978	874	788	851	848	888	911	903	1,217
その他	339	416	492	516	448	468	441	437	493	590	539	429	857
長期欠席合計	8,177	8,324	8,824	9,277	9,398	9,345	8,910	8,853	8,480	8,128	8,274	8,257	8,707
(出現率) %	4.19%	4.34%	4.59%	4.78%	4.76%	4.68%	4.40%	4.36%	4.08%	3.88%	3.92%	3.93%	4.15%
全児童数	194,953	191,846	192,418	194,015	197,604	199,652	202,448	203,132	207,684	209,568	210,880	210,296	209,696
長期欠席に占める不登校の割合 %	85.69%	84.98%	83.85%	84.14%	84.58%	85.52%	86.12%	85.35%	84.10%	81.77%	82.41%	83.81%	76.00%

【小・中学校合計】

理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移【小・中学校合計】



	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
不登校	8,976	8,969	9,253	9,857	10,102	10,039	9,819	9,802	9,281	8,554	8,998	9,363	8,936
(出現率) %	1.38%	1.37%	1.40%	1.48%	1.51%	1.49%	1.45%	1.45%	1.37%	1.27%	1.34%	1.40%	1.34%
経済的理由	22	19	18	16	30	16	17	12	26	6	5	7	20
病欠欠席	2,742	2,659	2,796	2,852	2,780	2,425	2,149	2,327	2,341	2,383	2,226	2,302	2,635
その他	925	1,160	1,275	1,346	1,303	1,290	1,307	1,166	1,472	1,546	1,553	1,352	2,241
長期欠席合計	12,665	12,807	13,342	14,071	14,215	13,770	13,292	13,307	13,120	12,489	12,782	13,024	13,832
(出現率) %	1.94%	1.96%	2.02%	2.11%	2.12%	2.04%	1.96%	1.96%	1.94%	1.86%	1.91%	1.95%	2.08%
全児童・生徒数	652,354	653,169	659,758	665,367	669,617	674,857	678,141	677,288	677,226	672,971	670,158	667,037	664,426
長期欠席に占める不登校の割合	70.87%	70.03%	69.35%	70.05%	71.07%	72.90%	73.87%	73.66%	70.74%	68.49%	70.40%	71.89%	64.60%

(3 - 2) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	128	197	289	382	605	718	2,319	1,758	2,412	2,447	6,617	8,936

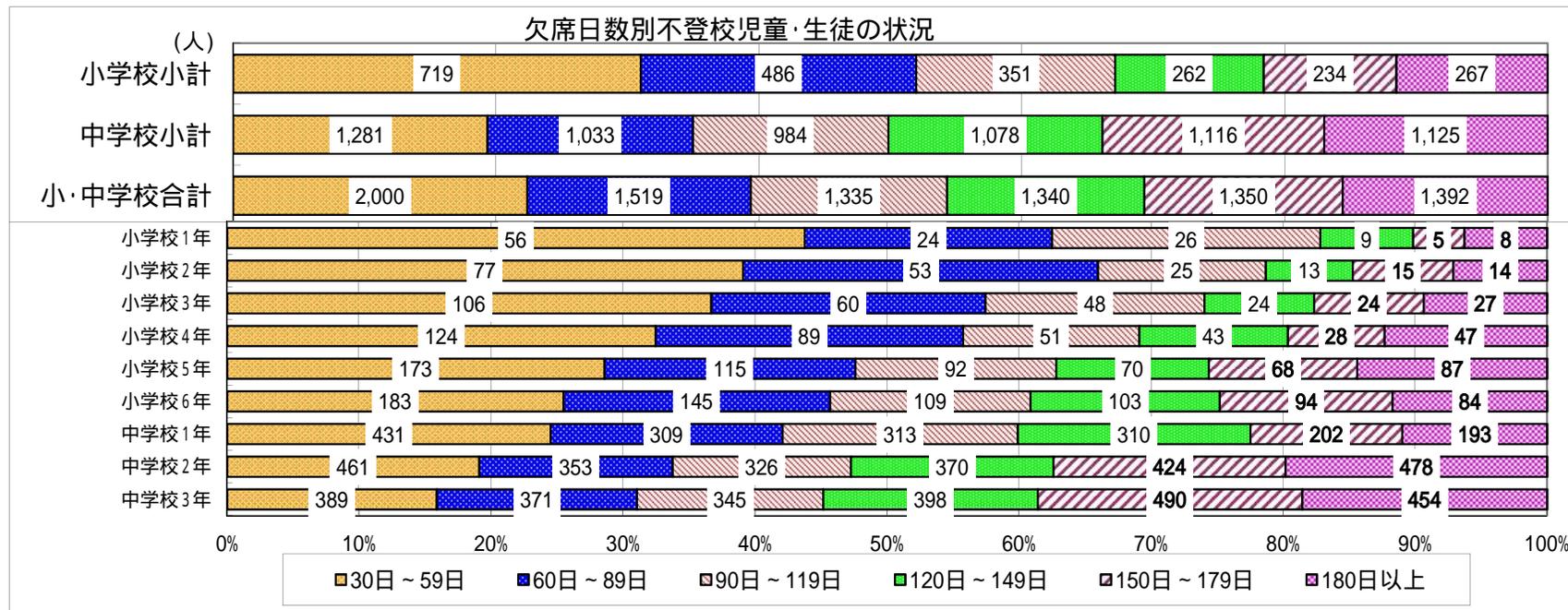
(参考2)

不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A × 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数 (人)	出現率 (B/A × 100)(%)	不登校 生徒数 の増減 率(%)	(A) 全児童・ 生徒数(人)	(B) 不登校児 童・生徒 数(人)	出現率 (B/A × 100)(%)	不登校児 童・生徒数 の増減率 (%)
7年度	487,323	1,026	0.21	-	237,307	3,905	1.65	-	724,630	4,931	0.68	-
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	13.5	215,077	6,599	3.07	0.4	664,032	8,243	1.24	3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	9.6	194,953	7,007	3.59	1.6	652,354	8,976	1.38	3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	4.0	678,141	9,819	1.45	2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	1.5	677,288	9,802	1.45	0.2
23年度	469,542	2,149	0.46	4.3	207,684	7,132	3.43	5.6	677,226	9,281	1.37	5.3
24年度	463,403	1,908	0.41	11.2	209,568	6,646	3.17	6.8	672,971	8,554	1.27	7.8
25年度	459,278	2,179	0.47	14.2	210,880	6,819	3.23	2.6	670,158	8,998	1.34	5.2
26年度	456,741	2,443	0.53	12.1	210,296	6,920	3.29	1.5	667,037	9,363	1.40	4.1
27年度	454,730	2,319	0.51	5.1	209,696	6,617	3.16	4.4	664,426	8,936	1.34	4.6

(3 - 3) 欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	不登校児童・生徒数	欠席日数												90日以上欠席した者のうち			
			30日～59日		60日～89日		90日～119日		120日～149日		150日～179日		180日以上		出席日数10日以下		出席日数が0日	
			人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	1年生	128	56	43.8	24	18.8	26	20.3	9	7.0	5	3.9	8	6.3	7	5.5	0	0.0
	2年生	197	77	39.1	53	26.9	25	12.7	13	6.6	15	7.6	14	7.1	5	2.5	2	1.0
	3年生	289	106	36.7	60	20.8	48	16.6	24	8.3	24	8.3	27	9.3	17	5.9	5	1.7
	4年生	382	124	32.5	89	23.3	51	13.4	43	11.3	28	7.3	47	12.3	19	5.0	9	2.4
	5年生	605	173	28.6	115	19.0	92	15.2	70	11.6	68	11.2	87	14.4	47	7.8	20	3.3
	6年生	718	183	25.5	145	20.2	109	15.2	103	14.3	94	13.1	84	11.7	49	6.8	17	2.4
	計	2,319	719	31.0	486	21.0	351	15.1	262	11.3	234	10.1	267	11.5	144	6.2	53	2.3
中学校	1年生	1,758	431	24.5	309	17.6	313	17.8	310	17.6	202	11.5	193	11.0	124	7.1	35	2.0
	2年生	2,412	461	19.1	353	14.6	326	13.5	370	15.3	424	17.6	478	19.8	308	12.8	107	4.4
	3年生	2,447	389	15.9	371	15.2	345	14.1	398	16.3	490	20.0	454	18.6	324	13.2	72	2.9
	計	6,617	1,281	19.4	1,033	15.6	984	14.9	1,078	16.3	1,116	16.9	1,125	17.0	756	11.4	214	3.2
合計	8,936	2,000	22.4	1,519	17.0	1,335	14.9	1,340	15.0	1,350	15.1	1,392	15.6	900	10.1	267	3.0	



(3-4) 不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(%) (B/A × 100)
小学校	855	696	81.4
中学校	413	406	98.3
計	1,268	1,102	86.9

(3-5) 不登校の要因

分類	区分	小学校										中学校							計											
		分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況	分類別児童数	学校に係る状況						家庭に係る状況	分類別児童数	学校に係る状況						家庭に係る状況			
			いじめ	いじめを除く友人関係をめぐり問題	教職員との関係をめぐり問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐり問題	入学・転編入学・進級時の不適応			いじめ	いじめを除く友人関係をめぐり問題	教職員との関係をめぐり問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応			学校のきまり等をめぐり問題	入学・転編入学・進級時の不適応	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐり問題	教職員との関係をめぐり問題	学業の不振		進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐり問題
「学校における人間関係」に課題を抱えている	352	27	225	86	41	5	0	13	26	122	1,362	58	994	101	184	28	111	26	103	233	1,714	85	1,219	187	225	33	111	39	129	355
「あそび・非行」の傾向がある	39	0	11	2	9	1	0	3	2	24	435	1	92	25	97	8	7	99	15	145	474	1	103	27	106	9	7	102	17	169
「無気力」の傾向がある	501	1	42	10	142	5	1	10	26	378	1,983	4	350	28	605	87	46	73	136	709	2,484	5	392	38	747	92	47	83	162	1,087
「不安」の傾向がある	842	8	155	45	155	14	2	18	102	487	1,953	10	571	41	416	121	77	30	271	595	2,795	18	726	86	571	135	79	48	373	1,082
「その他」	585	2	40	13	66	4	0	5	29	467	884	4	98	10	118	19	17	15	62	487	1,469	6	138	23	184	23	17	20	91	954
計	2,319	38	473	156	413	29	3	49	185	1,478	6,617	77	2,105	205	1,420	263	258	243	587	2,169	8,936	115	2,578	361	1,833	292	261	292	772	3,647

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

不登校児童・生徒数	2,319	6,617	8,936
-----------	-------	-------	-------

(3 - 6) 不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	965	41.6	2,386	36.1	3,351	37.5
指導中の児童・生徒	1,354	58.4	4,231	63.9	5,585	62.5
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童・生徒	483	20.8	1,802	27.2	2,285	25.6

(3 - 7) 「指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒」に特に効果のあった学校の措置

区分	小学校		中学校		計	
	校数(校)	割合(%)	校数(校)	割合(%)	校数(校)	割合(%)
学校内での指導の改善工夫						
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	117	16.8	131	32.3	248	22.5
全ての教師が当該児童・生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	136	19.5	169	41.6	305	27.7
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	119	17.1	90	22.2	209	19.0
養護教諭が専門的に指導にあたった。	104	14.9	117	28.8	221	20.1
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。	186	26.7	253	62.3	439	39.8
友人関係を改善するための指導を行った。	131	18.8	149	36.7	280	25.4
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	177	25.4	185	45.6	362	32.8
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	112	16.1	109	26.8	221	20.1
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。	147	21.1	123	30.3	270	24.5
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	195	28.0	200	49.3	395	35.8
家庭への働きかけ						
登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした。	254	36.5	247	60.8	501	45.5
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	185	26.6	282	69.5	467	42.4
保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。	173	24.9	181	44.6	354	32.1
他の機関との連携						
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。	116	16.7	163	40.1	279	25.3
病院等の医療機関と連携して指導にあたった。	49	7.0	79	19.5	128	11.6
その他	30	4.3	21	5.2	51	4.6

(注1)複数回答を可とする。(各区分の学校数の合計は不登校児童・生徒の在籍学校数の合計とはならない) (注2)割合は、各区分における不登校児童・生徒の在籍する学校数に対する割合

(3 - 8) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校				中学校				計					
	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数(A)	不登校児童・生徒数における(A)の割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	指導要録上出席扱いした学校数(C)	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)
～ の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	1,114	271	199	11	2,170	852	236	63	3,284	36.75	1,123	0.3	435	74
教育支援センター(適応指導教室)	211	116	96	4	758	501	179	25	969	10.84	617	0.6	275	29
教育センター等教育委員会所管の機関( を除く)	468	100	81	3	600	227	79	19	1,068	11.95	327	0.3	160	22
児童相談所、福祉事務所	254	20	18	0	382	59	41	0	636	7.12	79	0.1	59	0
保健所、精神保健福祉センター	50	0	0	0	39	1	1	0	89	1.00	1	0.0	1	0
病院、診療所	330	9	9	0	531	8	3	0	861	9.64	17	0.0	12	0
民間団体、民間施設	126	35	32	4	195	106	72	16	321	3.59	141	0.4	104	20
上記以外の機関等	81	12	6	2	136	31	21	3	217	2.43	43	0.2	27	5
～ の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,205	-	-	-	4,447	-	-	-	5,652	63.25	-	-	-	-
・ による相談・指導等を受けた人数(実数)	1,175	-	-	-	2,525	-	-	-	3,700	41.41	-	-	-	-
養護教諭による専門的な指導を受けた人数	409	-	-	-	567	-	-	-	976	10.92	-	-	-	-
スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	1,057	-	-	-	2,314	-	-	-	3,371	37.72	-	-	-	-
・ による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,144	-	-	-	4,092	-	-	-	5,236	58.59	-	-	-	-
上記 ～ 、 、 による相談・指導等を受けていない人数(実数)	637	-	-	-	2,846	-	-	-	3,483	38.98	-	-	-	-

(注) ～ 、 、 は複数回答を可とする。

(3 - 9) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

小学校	中学校	計
272	852	1,124

(3 - 10) 自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	28	110
うち「3 - 8」の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	6	16

(3 - 11) 不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
平成27年度不登校児童・生徒数	197	289	382	605	718	2,191	1,758	2,412	2,447	6,617
うち平成26年度から継続	79	148	223	354	430	1,234	732	1,463	1,767	3,962
比率(%)	40.1	51.2	58.4	58.5	59.9	56.3	41.6	60.7	72.2	59.9

(3 - 12) 教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市町村 設置	63	36	15.5	197	84.5	233	100
計	63	36	15.5	197	84.5	233	100

#### 4 長期欠席・不登校生徒の状況【公立高等学校】

##### (4-1) 高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数										計		
		不登校		経済的理由		病気		その他		うち、「不登校」の要因を含んでいる者				
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全 日 制	129,839	2,008	1.55	25	0.02	883	0.68	911	0.70	169	0.13	3,827	2.95	
内 訳	1 年 生	35,718	384	1.08	3	0.01	165	0.46	112	0.31	37	0.10	664	1.86
	2 年 生	35,394	403	1.14	8	0.02	259	0.73	165	0.47	48	0.14	835	2.36
	3 年 生	33,836	358	1.06	3	0.01	228	0.67	285	0.84	56	0.17	874	2.58
	単 位 制	24,891	863	3.47	11	0.04	231	0.93	349	1.40	28	0.11	1,454	5.84
定 時 制	8,662	1,175	13.56	265	3.06	160	1.85	1,300	15.01	57	0.66	2,900	33.48	
内 訳	1 年 生	979	101	10.32	33	3.37	20	2.04	79	8.07	5	0.51	233	23.80
	2 年 生	909	86	9.46	26	2.86	13	1.43	82	9.02	0	0.00	207	22.77
	3 年 生	846	69	8.16	23	2.72	8	0.95	97	11.47	0	0.00	197	23.29
	4 年 生	723	54	7.47	43	5.95	3	0.41	53	7.33	2	0.28	153	21.16
	単 位 制	5,205	865	16.62	140	2.69	116	2.23	989	19.00	50	0.96	2,110	40.54
計	138,501	3,183	2.30	290	0.21	1,043	0.75	2,211	1.60	226	0.16	6,727	4.86	
内 訳	1 年 生	36,697	485	1.32	36	0.10	185	0.50	191	0.52	42	0.11	897	2.44
	2 年 生	36,303	489	1.35	34	0.09	272	0.75	247	0.68	48	0.13	1,042	2.87
	3 年 生	34,682	427	1.23	26	0.07	236	0.68	382	1.10	56	0.16	1,071	3.09
	4 年 生	723	54	7.47	43	5.95	3	0.41	53	7.33	2	0.28	153	21.16
	単 位 制	30,096	1,728	5.74	151	0.50	347	1.15	1,338	4.45	78	0.26	3,564	11.84

(注1)在籍者数は、平成27年5月1日現在

(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。

「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「その他」に該当するものを計上している。

「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。)

「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せないとか、生徒が働いて家計を助けなければならない等のため

「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため

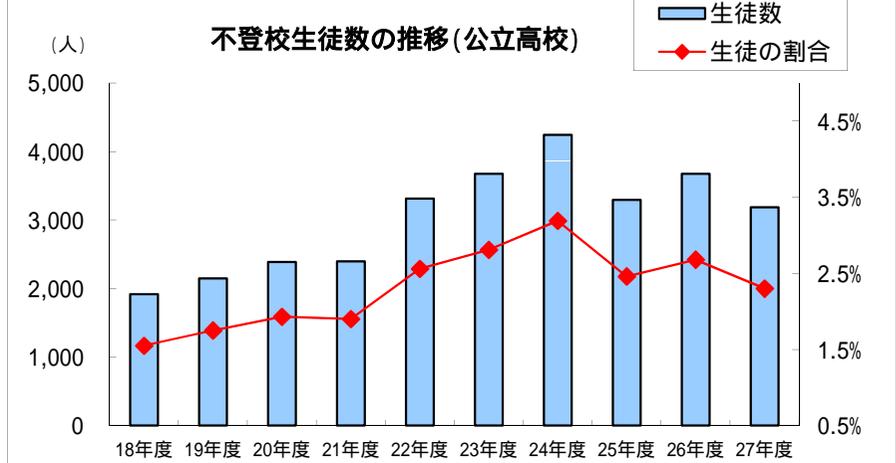
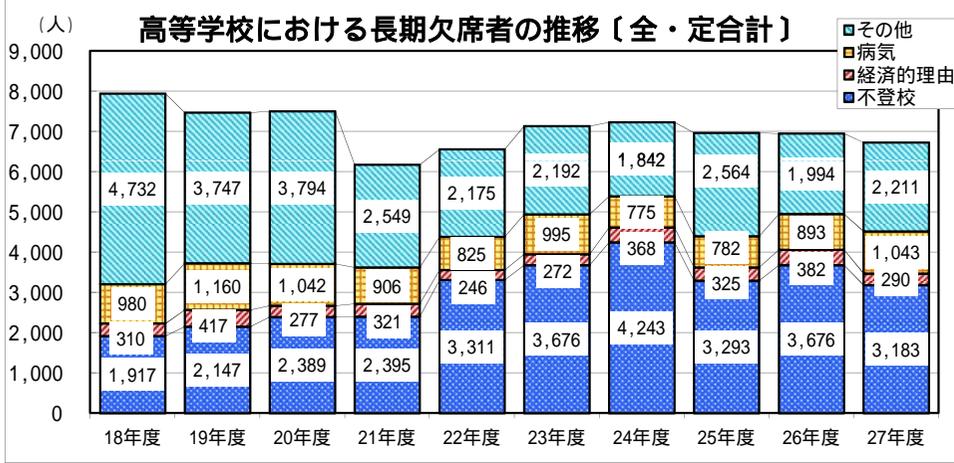
「その他」：上記のいずれにも該当しない理由のため

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

(参考)  
高等学校における理由別長期欠席者数の推移

ア 公立高等学校合計

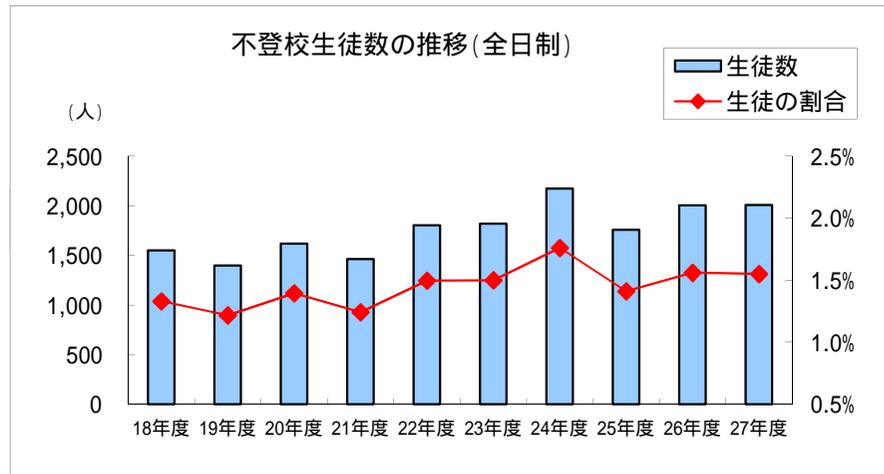
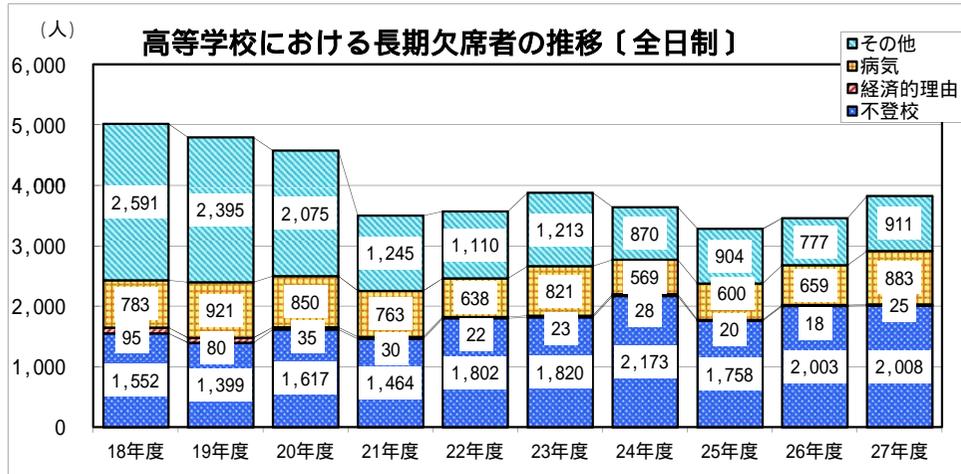
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	123,992	1,917	1.55	0.24	310	0.25	0.07	980	0.79	0.02	4,732	3.82	0.69	7,939	6.40	0.54
19年度	122,709	2,147	1.75	0.20	417	0.34	0.09	1,160	0.95	0.15	3,747	3.05	0.76	7,471	6.09	0.31
20年度	123,763	2,389	1.93	0.18	277	0.22	0.12	1,042	0.84	0.10	3,794	3.07	0.01	7,502	6.06	0.03
21年度	125,938	2,395	1.90	0.03	321	0.25	0.03	906	0.72	0.12	2,549	2.02	1.04	6,171	4.90	1.16
22年度	129,122	3,311	2.56	0.66	246	0.19	0.06	825	0.64	0.08	2,175	1.68	0.34	6,557	5.08	0.18
23年度	130,846	3,676	2.81	0.25	272	0.21	0.02	995	0.76	0.12	2,192	1.68	0.00	7,135	5.45	0.37
24年度	132,959	4,243	3.19	0.38	368	0.28	0.07	775	0.58	0.18	1,842	1.39	0.29	7,228	5.44	0.01
25年度	134,003	3,293	2.46	0.73	325	0.24	0.03	782	0.58	0.00	2,564	1.91	0.53	6,964	5.20	0.24
26年度	137,315	3,676	2.68	0.22	382	0.28	0.04	893	0.65	0.07	1,994	1.45	0.46	6,945	5.06	0.14
27年度	138,501	3,183	2.30	0.38	290	0.21	0.07	1,043	0.75	0.10	2,211	1.60	0.15	6,727	4.86	0.20



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
不登校 (出現率) <%>	1,917 1.55	2,147 1.75	2,389 1.93	2,395 1.90	3,311 2.56	3,676 2.81	4,243 3.19	3,293 2.46	3,676 2.68	3,183 2.30
経済的理由	310	417	277	321	246	272	368	325	382	290
病気	980	1,160	1,042	906	825	995	775	782	893	1,043
その他	4,732	3,747	3,794	2,549	2,175	2,192	1,842	264	1,994	2,211
長期欠席合計 (出現率) <%>	7,939 6.40	7,471 6.09	7,502 6.06	6,171 4.90	6,557 5.08	7,135 5.45	7,228 5.44	6,964 5.20	6,945 5.06	6,727 4.86
全校生徒数	123,992	122,709	123,763	125,938	129,122	130,846	132,959	134,003	137,315	138,501
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	24.15	28.74	31.84	38.81	50.50	51.52	58.70	47.29	52.93	47.32

イ 公立高等学校全日制課程

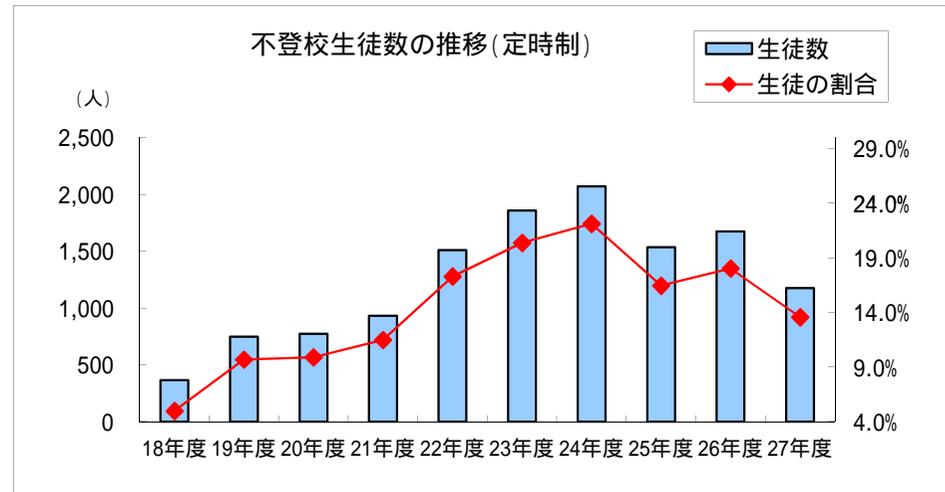
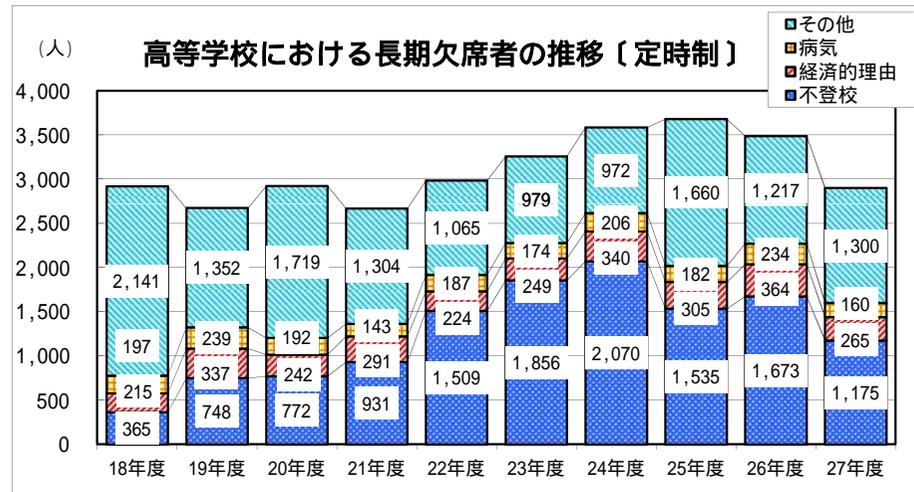
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	116,661	1,552	1.33	0.10	95	0.08	0.04	783	0.67	0.03	2,591	2.22	0.34	5,021	4.30	0.26
19年度	114,986	1,399	1.22	0.11	80	0.07	0.01	921	0.80	0.13	2,395	2.08	0.14	4,795	4.17	0.13
20年度	115,954	1,617	1.39	0.18	35	0.03	0.04	850	0.73	0.07	2,075	1.79	0.29	4,577	3.95	0.22
21年度	117,823	1,464	1.24	0.15	30	0.03	0.00	763	0.65	0.09	1,245	1.06	0.73	3,502	2.97	0.97
22年度	120,396	1,802	1.50	0.25	22	0.02	0.01	638	0.53	0.12	1,110	0.92	0.13	3,572	2.97	0.00
23年度	121,729	1,820	1.50	0.00	23	0.02	0.00	821	0.67	0.14	1,213	1.00	0.08	3,877	3.18	0.21
24年度	123,593	2,173	1.76	0.26	28	0.02	0.00	569	0.46	0.21	870	0.70	0.30	3,640	2.95	0.23
25年度	124,665	1,758	1.41	0.35	20	0.02	0.00	600	0.48	0.02	904	0.73	0.02	3,282	2.63	0.32
26年度	128,033	2,003	1.56	0.15	18	0.01	0.01	659	0.51	0.03	777	0.61	0.12	3,457	2.70	0.07
27年度	129,839	2,008	1.55	0.01	25	0.02	0.01	883	0.68	0.17	911	0.70	0.09	3,827	2.95	0.25



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
不登校 (出現率) <%>	1,552 1.33	1,399 1.22	1,617 1.39	1,464 1.24	1,802 1.50	1,820 1.50	2,173 1.76	1,758 1.41	2,003 1.56	2,008 1.55
経済的理由	95	80	35	30	22	23	28	20	18	25
病気	783	921	850	763	638	821	569	600	659	883
その他	2,591	2,395	2,075	1,245	1,110	1,213	870	904	777	911
長期欠席合計 (出現率) <%>	5,021 4.30	4,795 4.17	4,577 3.95	3,502 2.97	3,572 2.97	3,877 3.18	3,640 2.95	3,282 2.63	3,457 2.70	3,827 2.95
全校生徒数	116,661	114,986	115,954	117,823	120,396	121,729	123,593	124,665	128,033	129,839
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	30.91	29.18	35.33	41.80	50.45	46.94	59.70	53.56	57.94	52.47

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	7,331	365	4.98	2.92	215	2.93	0.38	197	2.69	0.76	2,141	29.20	4.86	2,918	39.80	3.08
19年度	7,723	748	9.69	4.71	337	4.36	1.43	239	3.09	0.41	1,352	17.51	11.70	2,676	34.65	5.15
20年度	7,809	772	9.89	0.20	242	3.10	1.26	192	2.46	0.64	1,719	22.01	4.51	2,925	37.46	2.81
21年度	8,115	931	11.47	1.59	291	3.59	0.49	143	1.76	0.70	1,304	16.07	5.94	2,669	32.89	4.57
22年度	8,726	1,509	17.29	5.82	224	2.57	1.02	187	2.14	0.38	1,065	12.20	3.86	2,985	34.21	1.32
23年度	9,117	1,856	20.36	3.07	249	2.73	0.16	174	1.91	0.23	979	10.74	1.46	3,258	35.74	1.53
24年度	9,366	2,070	22.10	1.74	340	3.63	0.90	206	2.20	0.29	972	10.38	0.36	3,588	38.30	2.56
25年度	9,338	1,535	16.44	5.66	305	3.27	0.36	182	1.95	0.25	1,660	17.78	7.40	3,682	39.43	1.13
26年度	9,282	1,673	18.02	1.58	364	3.92	0.65	234	2.52	0.57	1,217	13.11	4.67	3,488	37.58	1.85
27年度	8,662	1,175	13.56	4.46	265	3.06	0.86	160	1.85	0.67	1,300	15.01	1.90	2,900	33.48	4.10



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
不登校 (出現率) <%>	365 4.98	748 9.69	772 9.89	931 11.47	1,509 17.29	1,856 20.36	2,070 22.10	1,535 16.44	1,673 18.02	1,175 13.56
経済的理由	215	337	242	291	224	249	340	305	364	265
病気	197	239	192	143	187	174	206	182	234	160
その他	2,141	1,352	1,719	1,304	1,065	979	972	1,660	1,217	1,300
長期欠席合計 (出現率) <%>	2,918 39.30	2,676 34.65	2,925 37.46	2,669 32.89	2,985 34.21	3,258 35.74	3,588 38.31	3,682 39.43	3,488 37.58	2,900 33.48
全校生徒数	7,331	7,723	7,809	8,115	8,726	9,117	9,366	9,338	9,282	8,662
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	12.51	27.95	26.39	34.88	50.55	56.97	57.69	41.69	47.96	40.52

(4 - 2) 不登校状態が前年度から継続している生徒数

区分	1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計		
	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	
全日制	不登校生徒数	384	-	403	-	358	-	-	-	863	-	2,008	-
	うち 前年度から継続	46	12.0	86	21.3	126	35.2	-	-	346	40.1	604	30.1
	うち その他	157	40.9	2	0.5	0	0.0	-	-	110	12.7	269	13.4
定時制	不登校生徒数	101	-	86	-	69	-	54	-	865	-	1,175	-
	うち 前年度から継続	32	31.7	35	40.7	28	40.6	36	66.7	506	58.5	637	54.2
	うち その他	16	15.8	1	1.2	1	1.4	3	5.6	106	12.3	127	10.8
計	不登校生徒数	485	-	489	-	427	-	54	-	1,728	-	3,183	-
	うち 前年度から継続	78	16.1	121	24.7	154	36.1	36	66.7	852	49.3	1,241	39.0
	うち その他	173	35.7	3	0.6	1	0.2	3	5.6	216	12.5	396	12.4

(注1) 構成比は、各課程・各学年の不登校生徒数に占める割合

(注2) 「その他」には、不登校生徒のうち前年度の状況が確認できなかった者を計上

(4 - 3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制		定時制		計	
	生徒数	(%)	生徒数	(%)	生徒数	(%)
不登校生徒数	2,008	-	1,175	-	3,183	-
うち中途退学に至った者	419	20.9	241	20.5	660	20.7
うち原級留置に至った者	108	5.4	127	10.8	235	7.4

(注) 印は各課程の不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4-4)不登校の要因

区分  分類		高等学校																																						
		全 日 制														定 時 制																								
		分類別生徒数	学校に係る状況													家庭に係る状況	分類別生徒数	学校に係る状況													家庭に係る状況									
			いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安			クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応																				
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	256	110	2	1	138	42	5	2	11	4	9	2	15	4	8	4	56	41	30	15	84	67	0	0	56	41	1	0	11	11	0	0	1	1	3	3	10	10	9	7
「あそび・非行」の傾向がある。	285	156	0	0	34	12	0	0	77	32	5	1	2	1	14	9	20	10	50	40	278	218	0	0	13	7	2	2	97	84	2	2	1	1	9	6	26	18	22	15
「無気力」の傾向がある。	836	394	0	0	38	22	3	2	228	98	36	6	7	3	31	15	126	47	128	72	430	342	1	0	33	21	2	2	119	98	12	9	1	1	17	7	49	26	65	52
「不安」の傾向がある。	267	79	0	0	45	19	2	1	38	11	67	14	4	1	7	3	47	11	68	25	112	70	0	0	18	13	0	0	7	6	16	11	1	1	2	2	33	14	29	20
「その他」	364	124	1	0	15	6	0	0	33	7	32	12	8	1	8	3	38	9	127	36	271	168	0	0	13	9	2	2	57	49	11	8	0	0	22	20	28	25	76	68
計	2,008	863	3	1	270	101	10	5	387	152	149	35	36	10	68	34	287	118	403	188	1,175	865	1	0	133	91	7	6	291	248	41	30	4	4	53	38	146	93	201	162

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(注3) については、各課程における単位制高等学校の回答を内数として示したものとする。

(4-5)不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制				(2)定時制				計			
	人数(人)	割合(%)	うち、単位制		人数(人)	割合(%)	うち、単位制		人数(人)	割合(%)	うち、単位制	
			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	456	22.7	148	17.1	238	20.3	158	18.3	694	21.8	306	17.7
指導中の生徒	1,552	77.3	715	82.9	937	79.7	707	81.7	2,489	78.2	1,422	82.3
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒	498	24.8	254	29.4	273	23.2	199	23.0	771	24.2	453	26.2
計	2,008	100.0	863	100.0	1,175	100.0	865	100.0	3,183	100.0	1,728	100.0

(4 - 6) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	全日制				定時制				計								
	相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数(A)		不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)		指導要録上出席扱いした人数(B)		(B)/(A)(%)		
	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制		
学校外	(1) ~ の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	214	64	2	1	65	46	0	0	279	110	8.77	6.37	2	1	0.72	0.91
	教育支援センター(適応指導教室)	16	3	0	0	5	1	0	0	21	4	0.66	0.23	0	0	0.00	0.00
	教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	25	2	1	0	2	1	0	0	27	3	0.85	0.17	1	0	3.70	0.00
	児童相談所、福祉事務所	22	9	1	1	20	13	0	0	42	22	1.32	1.27	1	1	2.38	4.55
	保健所、精神福祉保健センター	3	1	0	0	4	3	0	0	7	4	0.22	0.23	0	0	0.00	0.00
	病院、診療所	141	49	0	0	28	23	0	0	169	72	5.31	4.17	0	0	0.00	0.00
	民間団体、民間施設	8	0	0	0	8	7	0	0	16	7	0.50	0.41	0	0	0.00	0.00
	上記以外の機関等	15	5	0	0	6	2	0	0	21	7	0.66	0.41	0	0	0.00	0.00
(2) ~ の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,520	694	-	-	1,008	727	-	-	2,528	1,421	79.42	82.23	-	-	-	-	
(3) 不明(実数)	274	105	-	-	102	92	-	-	376	197	11.81	11.40	-	-	-	-	
(4) (1)~(3)の合計	2,008	863	-	-	1,175	865	-	-	3,183	1,728	100.00	100.00	-	-	-	-	
学校内	(5) . による相談・指導等を受けた人数(実数)	553	207	-	-	173	123	-	-	726	330	22.81	19.10	-	-	-	-
	養護教諭による専門的な指導を受けた人数	383	144	-	-	115	74	-	-	498	218	15.65	12.62	-	-	-	-
	スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	304	85	-	-	92	64	-	-	396	149	12.44	8.62	-	-	-	-
	(6) . による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,455	656	-	-	1,002	742	-	-	2,457	1,398	77.19	80.90	-	-	-	-
(7) (5)~(6)の合計	2,008	863	-	-	1,175	865	-	-	3,183	1,728	100.00	100.00	-	-	-	-	
(8) 上記 ~ , , による相談・指導等を受けていない人数	1,190	577	-	-	882	638	-	-	2,072	1,215	65.10	70.31	-	-	-	-	

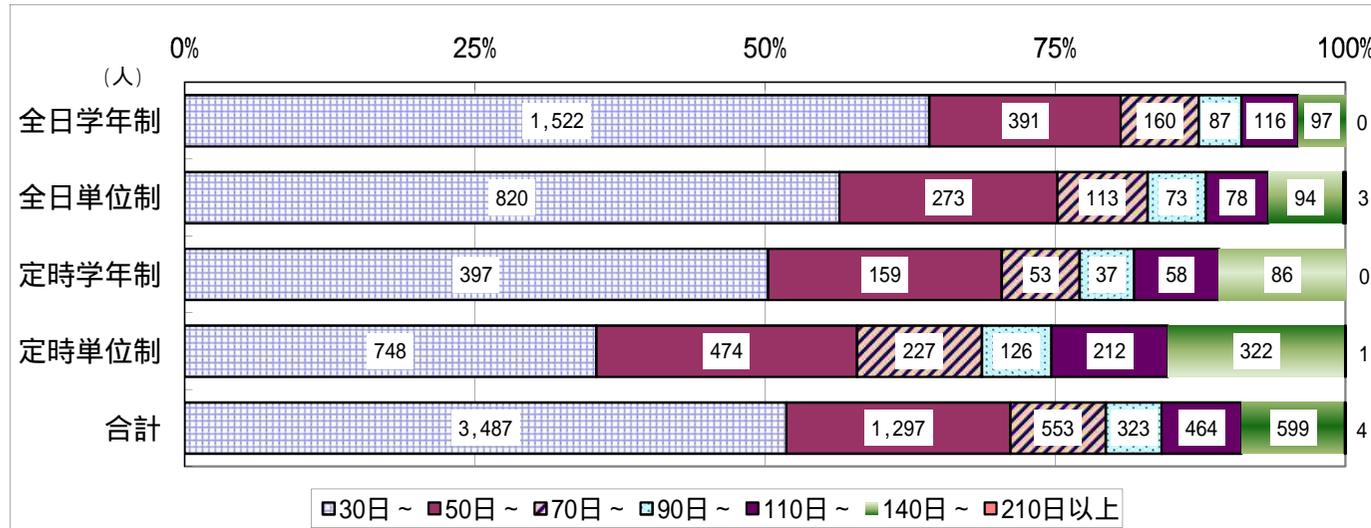
(注1) ~ 、 、 は複数回答可

(注2)(8)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

(4 - 7) 欠席日数別長期欠席生徒の状況

区分	長期欠席生徒数	欠席日数														
		30日～49日		50日～69日		70日～89日		90日～109日		110日～139日		140日～209日		210日以上		
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
全 日 制	3,827	2,342	61.20	664	17.35	273	7.13	160	4.18	194	5.07	191	4.99	3	0.08	
内 訳	1 年 生	664	355	53.46	120	18.07	64	9.64	38	5.72	47	7.08	40	6.02	0	0.00
	2 年 生	835	505	60.48	152	18.20	55	6.59	35	4.19	42	5.03	46	5.51	0	0.00
	3 年 生	874	662	75.74	119	13.62	41	4.69	14	1.60	27	3.09	11	1.26	0	0.00
	単 位 制	1,454	820	56.40	273	18.78	113	7.77	73	5.02	78	5.36	94	6.46	3	0.21
定 時 制	2,900	1,145	39.48	633	21.83	280	9.66	163	5.62	270	9.31	408	14.07	1	0.03	
内 訳	1 年 生	233	84	36.05	40	17.17	23	9.87	14	6.01	22	9.44	50	21.46	0	0.00
	2 年 生	207	104	50.24	37	17.87	12	5.80	16	7.73	19	9.18	19	9.18	0	0.00
	3 年 生	197	108	54.82	50	25.38	11	5.58	3	1.52	14	7.11	11	5.58	0	0.00
	4 年 生	153	101	66.01	32	20.92	7	4.58	4	2.61	3	1.96	6	3.92	0	0.00
	単 位 制	2,110	748	35.45	474	22.46	227	10.76	126	5.97	212	10.05	322	15.26	1	0.05
計	6,727	3,487	51.84	1,297	19.28	553	8.22	323	4.80	464	6.90	599	8.90	4	0.06	
内 訳	1 年 生	897	439	48.94	160	17.84	87	9.70	52	5.80	69	7.69	90	10.03	0	0.00
	2 年 生	1,042	609	58.45	189	18.14	67	6.43	51	4.89	61	5.85	65	6.24	0	0.00
	3 年 生	1,071	770	71.90	169	15.78	52	4.86	17	1.59	41	3.83	22	2.05	0	0.00
	4 年 生	153	101	66.01	32	20.92	7	4.58	4	2.61	3	1.96	6	3.92	0	0.00
	単 位 制	3,564	1,568	44.00	747	20.96	340	9.54	199	5.58	290	8.14	416	11.67	4	0.11

(注)パーセンテージは、各区分における長期欠席生徒数に対する割合



区分	90日以上欠席した者のうち			
	出席日数10日以下		出席日数が0日	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
全	69	1.8	21	0.5
1	12	1.8	2	0.3
2	13	1.6	2	0.2
3	3	0.3	1	0.1
単	41	2.8	16	1.1
定	120	4.1	58	2.0
1	8	3.4	4	1.7
2	4	1.9	3	1.4
3	0	0.0	0	0.0
4	1	0.7	0	0.0
単	107	5.1	51	2.4
計	189	2.8	79	1.2
1	20	2.2	6	0.7
2	17	1.6	5	0.5
3	3	0.3	1	0.1
4	1	0.7	0	0.0
単	148	4.2	67	1.9

## 5 中途退学者等の状況【公立高等学校】

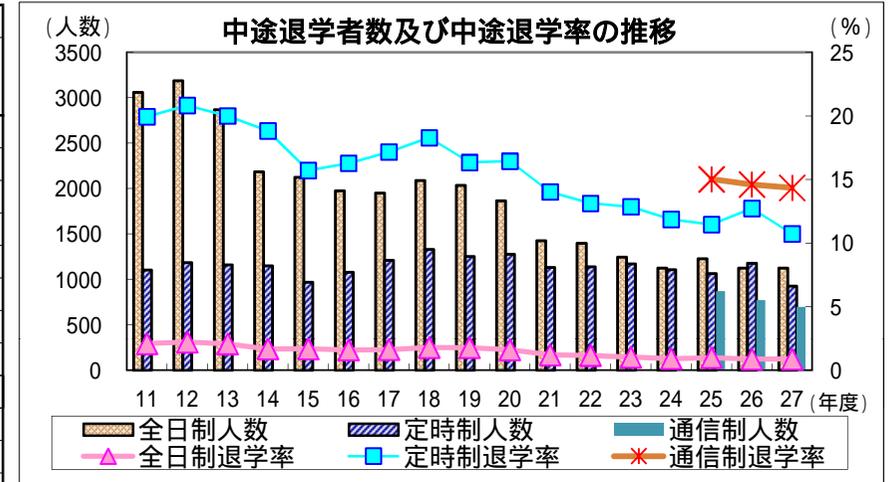
### (5 - 1) 課程・学年別中途退学者数

区分	全日制					定時制						通信制		合計
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	計	単位制	計	
中途退学者数	389	347	97	294	1,127	226	105	65	23	509	928	698	698	2,753

(参考)

### 中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			定時制		
	人数	中途退学率	増減(p)	人数	中途退学率	増減(p)
平成11年度	3,061	2.09	0.18	1,104	19.95	0.63
平成12年度	3,188	2.21	0.12	1,187	20.83	0.88
平成13年度	2,871	2.07	0.14	1,162	20.00	0.83
平成14年度	2,185	1.67	0.40	1,150	18.83	1.17
平成15年度	2,125	1.67	0.00	971	15.72	3.11
平成16年度	1,976	1.60	0.07	1,078	16.28	0.56
平成17年度	1,952	1.62	0.02	1,209	17.16	0.88
平成18年度	2,089	1.79	0.17	1,331	18.28	1.12
平成19年度	2,036	1.77	0.02	1,255	16.34	1.94
平成20年度	1,865	1.61	0.16	1,279	16.44	0.10
平成21年度	1,426	1.21	0.40	1,134	14.03	2.41
平成22年度	1,398	1.16	0.05	1,139	13.12	0.91
平成23年度	1,247	1.03	0.13	1,170	12.86	0.26
平成24年度	1,125	0.91	0.12	1,109	11.86	1.00
平成25年度	1,230	0.99	0.08	1,067	11.46	0.40
平成26年度	1,126	0.88	0.11	1,180	12.72	1.26
平成27年度	1,127	0.87	0.01	928	10.72	2.00



通信制		
人数	中途退学率	増減(p)
869	15.02	-
770	14.61	0.41
698	14.35	0.26

(注1)中途退学率は、平成27年4月1日現在の在籍者数に占める中途退学者数の割合

(注2)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(注3)平成23年度の定時制、平成25年度の通信制及び平成26年度の全日制・定時制の人数、中途退学率、増減の数値を訂正

(5 - 2) 事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	151	13.4	28	3.0	1	0.1
学校生活・学業不適應	375	33.3	239	25.8	188	26.9
もともと高校生活に熱意がない	123	10.9	147	15.8	7	1.0
授業に興味がない	71	6.3	38	4.1	1	0.1
人間関係がうまく保てない	63	5.6	13	1.4	3	0.4
学校の雰囲気が合わない	61	5.4	10	1.1	2	0.3
その他	57	5.1	31	3.3	175	25.1
進路変更	474	42.1	368	39.7	71	10.2
別の高校への入学を希望	132	11.7	104	11.2	23	3.3
専修・各種学校への入学を希望	22	2.0	8	0.9	11	1.6
就職を希望	131	11.6	150	16.2	15	2.1
高卒程度認定試験を受験希望	104	9.2	17	1.8	10	1.4
その他	85	7.5	89	9.6	12	1.7
病気・けが・死亡	46	4.1	18	1.9	5	0.7
経済的理由	0	0.0	6	0.6	0	0.0
家庭の事情	38	3.4	70	7.5	8	1.1
問題行動等	24	2.1	19	2.0	1	0.1
その他の理由	19	1.7	180	19.4	424	60.7
定時制・仕事の多忙	-	-	104	11.2	1	0.1
通信制・勤務先の事情	-	-	11	1.2	0	0.0
その他	19	1.7	65	7.0	423	60.6
中途退学者数	1,127	100.0	928	100.0	698	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5 - 3) 経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
授業料減免を受けていた者	0	0.0	3	50.0	0	0.0
奨学金の貸与を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
授業料の滞納があった者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
上記のいずれかにも該当しない者	0	0.0	3	50.0	0	0.0
経済的理由による中途退学者数	0	100.0	6	100.0	0	100.0

(注1) ~ については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5 - 4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	293	0.94	96	2.06	-	-	226	22.90	-	-	615	1.68
2 年 生	251	0.81	96	2.13	-	-	105	11.71	-	-	452	1.25
3 年 生	79	0.27	18	0.41	-	-	65	7.71	-	-	162	0.47
4 年 生	-	-	-	-	-	-	23	3.19	-	-	23	3.19
単 位 制	160	1.45	24	0.61	110	1.12	509	9.78	698	14.35	1,501	4.30
合 計	783	0.76	234	1.34	110	1.12	928	10.72	698	14.35	2,753	1.92

(注)割合は、平成27年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

(5 - 5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	0	0.00	0	0.00	-	-	0	0.00	-	-	0	0.00
2 年 生	0	0.00	0	0.00	-	-	0	0.00	-	-	0	0.00
3 年 生	0	0.00	0	0.00	-	-	1	1.54	-	-	1	0.62
4 年 生	-	-	-	-	-	-	0	0.00	-	-	0	0.00
単 位 制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.11	0	0.00	1	0.04

(注)割合は、平成27年4月1日現在の課程・学科・学年別中途退学者数に占める懲戒による退学者の割合

(5 - 6) 課程・学科・学年別原級留置者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	70	0.23	28	0.60	-	-	78	7.90	-	-	176	0.48
2 年 生	53	0.17	11	0.24	-	-	35	3.90	-	-	99	0.27
3 年 生	12	0.04	3	0.07	-	-	17	2.02	-	-	32	0.09
4 年 生	-	-	-	-	-	-	17	2.36	-	-	17	2.36
単 位 制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計	135	0.13	42	0.24	0	0.00	147	1.70	0	0.00	324	0.23

(注1)原級留置者とは、平成28年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、平成27年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

(5 - 7) 課程・学科・学年別再入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	1	0	-	0	-	1
2 年 生	0	0	-	6	-	6
3 年 生	0	0	-	3	-	3
4 年 生	-	-	-	2	-	2
単 位 制	0	0	0	4	5	9
合計	1	0	0	15	5	21

(注)再入学者とは、平成27年度以前に高等学校を退学した者で、退学したとき同一の学校の同一課程・学科に平成27年度中に入学した者をいう。

(5 - 8) 編入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	0	0	-	0	-	0
2 年 生	0	0	-	6	-	6
3 年 生	0	0	-	1	-	1
4 年 生	-	-	-	0	-	0
単 位 制	24	0	0	10	94	128
合計	24	0	0	17	94	135

(注)編入学者とは、平成27年度以前に高等学校を退学した者で、いずれかの高等学校に平成27年度中に入学した者の中から、「(5 - 7) 課程・学科・学年別再入学者数」を除いた者をいう。

## 6 自殺の状況【公立小・中・高等学校】

### (6-1) 児童・生徒の自殺の状況



### (6-2) 自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校				合計	
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	4年生		計
男子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	5	5
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	3	4
計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	3	0	8	9

### (6-3) 自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
家庭不和	0	0.0	0	0.0	1	12.5	1	11.1
父母等のしっ責	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学業不振	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
進路問題	0	0.0	0	0.0	1	12.5	1	11.1
教職員との関係での悩み	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
いじめの問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
厭世	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
異性問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神障害	0	0.0	0	0.0	1	12.5	1	11.1
不明	0	0.0	1	100.0	5	62.5	6	66.7
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(注1)複数回答を可とする。(注2)構成比は、各区分における自殺した児童・生徒数に対する割合。

## 7 出席停止の状況【公立小・中学校】

(7-1)出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
平成27年度	0	1	1

(7-2)出席停止の学年別・男女別件数

区分	学年別件数											合計
	小学校							中学校				
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
平成27年度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1

男女別件数			
区分	小学校	中学校	計
男子	0	0	0
女子	0	1	1

(7-3)出席停止の期間別件数

区分	1~3日	4~6日	7~13日	14~20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	1	0	1

(7-4)出席停止の理由別件数

区分	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	1	1	1	0	1	1	0	5
計	1	1	1	0	1	1	0	5

(注)複数回答可

## 8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

### （8 - 1）県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育センター・教育研究所	2	42 (21.0)	71 (35.5)	113 (56.5)
教育相談所・相談室	6	14 (2.3)	125 (20.8)	139 (23.2)

(注1)( )内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2)「教育センター・教育研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注3)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

### （8 - 2）県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
教育センター・教育研究所	1,294	2,611	11	0	3,916
教育相談所・相談室	1,965	1,935	79	10,488	14,467
計	3,259	4,546	90	10,488	18,383

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

### （8 - 3）県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育センター・教育研究所での来所教育相談件数(A)	381	149	109	655	1,294
教育相談所・相談室での来所教育相談件数(B)	812	832	268	53	1,965
来所教育相談総件数(AとBの合計)	1,193	981	377	708	3,259
うち、いじめに関する教育相談件数	25	29	6	12	72
うち、不登校に関する教育相談件数	626	724	274	659	2,283

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8 - 4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計	
教育相談件数	電話相談	1,022	1,183	893	1,448	4,546	
	訪問相談	39	42	3	6	90	
	巡回相談	6,009	3,537	493	449	10,488	
内数	いじめに関する相談	電話相談	295	341	168	637	1,441
		訪問相談	0	1	0	0	1
		巡回相談	33	26	1	0	60
	不登校に関する相談	電話相談	236	361	545	336	1,478
		訪問相談	33	40	3	6	82
		巡回相談	1,170	1,964	13	0	3,147

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8 - 5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	49
---------	----

イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(人)	16	153	169
構成比(%)	9.5	90.5	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	0.3	3.1	3.4

ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
件数(件)	16,766	7,626	2,868	3,720	30,980

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。